明治四十三年十二月一日第三種郵便物認可（毎月一回）
明治三十一年二月二十八日内務省許可（廿日發行）

大正二年六月二十日發行

婦人衛生雜誌

第二百十三號

婦人衞生雜誌

第二百八十三號目次

私立大日本婦人衛生會

七月例會通知

來る七月五日(第一土曜日)午後一時半より神田區一ツ橋通り共立女子職業學校内に於て本會例會相開き左の講話有之候間御知友御誘引御來會被下度候也

胃腸の養生

醫學士　南大曹君

大正二年六月

私立大日本婦人衛生會

●會　告●

●本月は前半期決算期に候間會費未納の御方は本年十二月迄の前金相添へ此際本會事務所へ宛御送金被下度候

●前金切れの御方は此際御送金被下度候也

本會の振替貯金口座番號一〇六〇〇番に付右番號を御承知の上所在の郵便局に於て該用紙御請取被下指定の欄内へ送金高、拂込人住所氏名、及び加入者住所氏名（卽ち本會）等を記入し同時に金圓御拂込相成候はゞ直ちに本會へ送金無料にて相屆き且つ途中紛失及び盜難の憂ひも無之候又該用紙裏面に通信文欄有之候間他に用事ある節は何なりとも御記入差支無之候、右の如く拂込人に取りては安全、輕便、經濟等一擧にして種々の利益ある便法に付自今該法を御利用被下度此段會員諸姉に稟告致候也

〇本誌には會員諸姉の御便宜を謀り特に振替貯金拂込用紙を添付致置候間御用ゐ被下度候

〇爲替御送附の節は本會事務所宛にて麹町區富士見町郵便局へ御振出しを乞ふ

婦人衛生雜誌第二百八十三號
（大正二年六月二十日發行）

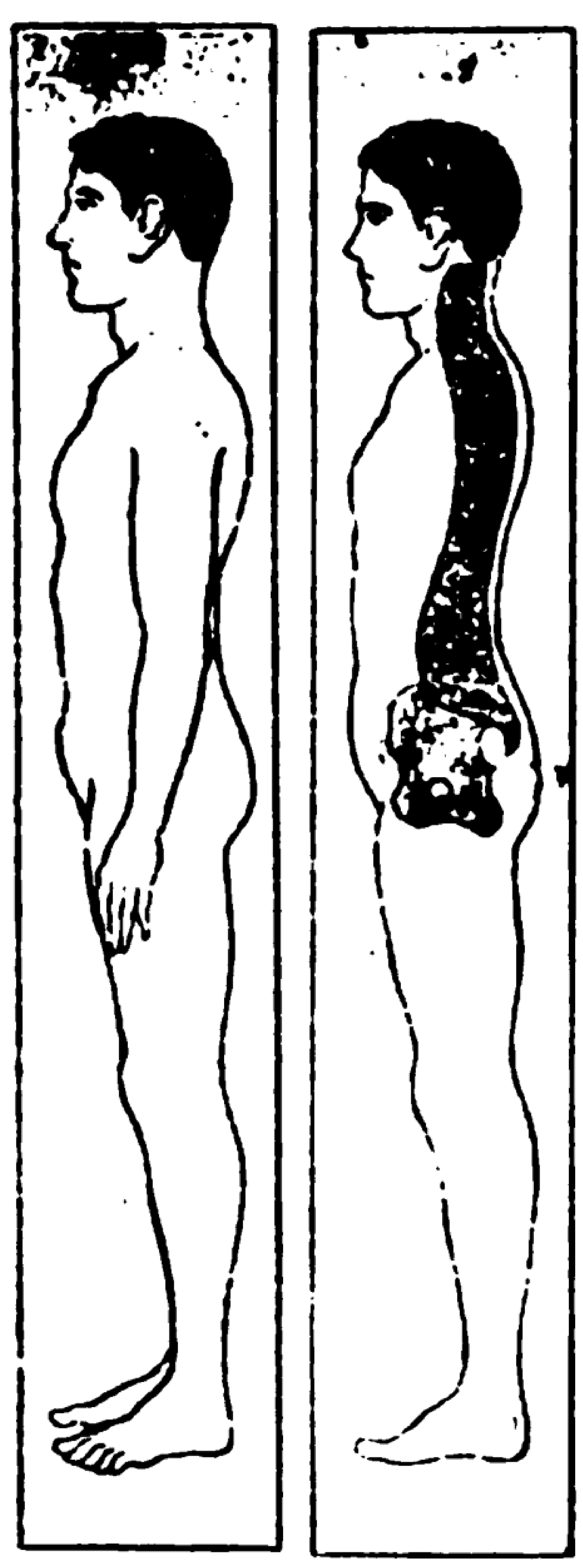
講演

脊柱の彎曲

醫學博士　田代義德

脊骨の彎曲といふことに就て皆樣にお話致します、吾々の脊骨といふものは赤ん坊の時分には眞直になつて居る、それが二歳になり三歳になつて歩き始めるやうになると曲つて來ます、それはどういふ風に曲るかといふことは別に申上げんでも宜しいが、例へば斯ういふ工合に(第一圖)頸の處は少しまへに、脊中が後へ曲つて此處(腰部)が少し前に出て、又其下部が後に出るといふ風に恰度Sの字のやうな形になる、どうして脊骨がこんな風に曲るかといふに、例へば、總ての動物を見ても四ツ足は皆脊骨は眞直であります、人間も赤ん坊の時代、未だ歩かない時代には眞直であるが、歩き始めると曲つて來る、それで或人は是は人間が歩くやうになつた結果脊骨が曲るやうになつたので、あると云ふ、即ち人間も他

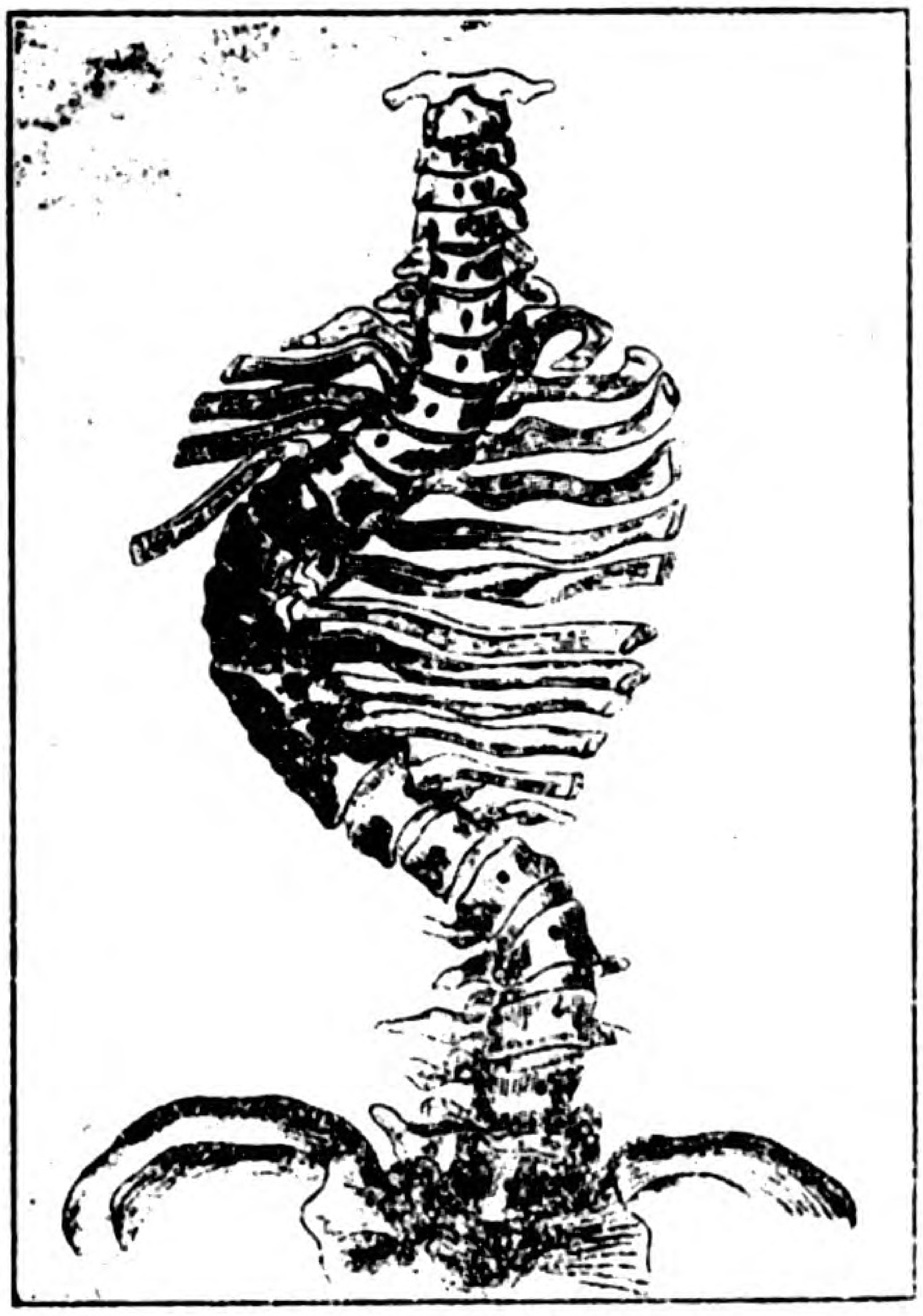
第一圖



の動物の如く或は何時かの昔は歩いて居なかつたかも分らぬ、立つて居なかつたかも知れぬ、立つて居らない時分は脊骨が矢張り他の動物と同じやうであつたのに、歩き初めるに從つて曲るやうになつた、此曲り方は普通脊骨が前後に曲る、頸は前の方に曲りて居るし脊中の眞中は後ろの方に曲り、腰の處は

前の方に曲るといふやうな工合に前方と後方とだけが曲つて居るのです、此曲り方は或程度迄は別に病氣といふのではないので少し曲り方が甚いと言つても殊更に病氣といふのではありませぬ、唯其曲り方の中で横に曲ることがありますが是は病氣です、普

第二圖



通壯健な人の脊骨は決して横には曲つて居りませぬ、是は脊椎側彎と言ひまして、普通脊髓と脊椎と間違へることがありますが、脊椎といふのは骨のことを云ふし、脊髓といふのは骨の中に這入て居る髓質、食指か拇指位な太い神經がありまして、其神經のことを脊髓と云ひます、でありますから病には脊椎と脊髓の二つがあります、脊骨が曲るのは是は脊椎の病で、骨の方の病氣であります、脊骨が横に曲つて大變重くなると斯う云ふふうになります（第二

第三圖



圖）横に曲る許りでなく捻れる、西洋の書物には恰かも松の木に蔦が搦んだやうになり或は葡萄の蔓が棒に搦んだやうになるとありまして、單に側彎と言つて側方に曲る許りでなく、同時に捻れるのです、でありますから醫者が脊椎側彎さいふ病名を附ける

時分には中々重い病氣なのです、斯う云ふ風になりますと療治しても容易に癒りませぬから、斯くの如く甚く重らない内に側彎を癒さぬといけませぬ、それで學校衛生では側彎のことを大變八ヶましく申します、此處に男女の側彎の甚いのがありますからお目に掛けます（第三圖）。斯くのごとく甚だしくなつたのは最早治る譯には行きませぬ、で學校では出來るだけ生徒の姿勢を正しくして側彎などの起らぬやうに、始終注意して居るのであります、日本でも文部省で專門家を派出して、總ての學校の體格檢査を施行して居りますが、其成績に依るとどういふものか側彎は西洋の子供に比して日本の子供には少い。そして女の子は男の子よりも脊骨の側彎が多いのです、西洋でも日本でも、だん〳〵多數の學校の兒童を檢査した結果に據ると、矢張り男子に比して女子の方が側彎をして居る者が多いといふことになつて居ります、こんな譯で學校では殊に女子の脊骨に就ては始終注意して居るのであります。例へば是は男の子も同じことでありますが、學校の机とか腰掛とかいふものは、尋常一年生の机と腰掛と、尋常六年生の机と腰掛とは、多少違つて居らなければなりませぬ。學校で始終机の高さ腰掛の高さなどを注意して居るのは何の爲めであるかと云ふと、第一に脊骨の曲り方を豫防するのであつて、其他いろ〳〵ありますが、近眼の豫防と此二つを非常に注意して居ります。此二つの中で脊骨の側彎といふことは、我國に於ては稍々少ないのであります。是は事實であるかどうかといふことを、今日お話し申したい積りなのです。大體に於て私共が治療して居ります患者の中にも、脊椎が側方に曲つた爲めに治療を乞ひに來る人は少ない、西洋の例を見ますると、先づ形を整へる外科、即ち整形外科の病人中の大多數は、女子の脊骨の曲つた病人です。何れの整形科の診察所へ行つても、十人十五人の脊骨の曲つた娘が來て治療を受けて居る。そして大抵は學校から歸りに午後診察所へ來て治療を受けて歸るといふことになつて居ります。私共が視て廻つた各地の整形科の診察所では、皆盛んに脊椎側彎の娘を治療して居る。それが主で

あります。夫故整形科に來る病人の種類をいろ〳〵統計して見ますと、獨逸其他西洋では脊椎側彎が最も多うございます。然るに我國では私が作つた三萬人程の統計に據ると、脊椎側彎は非常に少なくなつて居ります、病人として來る脊椎側彎が少ないと共に、文部省の調査で見ても少ない、でありますから是は事實上我國に於ては少ないといふ想像が出て參ります、併し其想像が愈々正しいかどうか、是は尚他の方面をも研究して見ませぬと、確實のことは分りませぬ、例へば從來日本に無かつたやうな病氣が、醫學の進歩に從つてだん〳〵分つて來て居る、こんな病氣は嘗て我國には無かつたといふやうなものも、西洋にある病氣は不幸にも我國に悉くあつたのです。脊椎側彎なども、我國には今の所少ないと言つて居るが、事實かどうかは尚月日を經つて見ないと分りませぬが、唯少なからうといふ理由はある。例へば西洋の衣服ですと肉體の上に直接に著物を來て居るから體の格好が衣服の外から能く分ります。夫れが皆様の著て居るやうな普通の日本の衣服であると、一寸分り難い、殊に冬などは體の格好が一寸想像し難い、若し著物の上から想像がつくやうな異つた格好があれば、是は最早餘程甚いのです。夫が爲め自分の脊中の曲り方などに就て尚自身にも注意せず、又傍の者も氣が附かずに居るか知れませぬが、私共の考では我國に於ても西洋風の衣服を著ることがだん〳〵流行るやうになつて、まあさう流行ることもありますまいが、著る人でも多くなれば餘程格好を八ケ間しくいふ人が多くなつて來るだらうと思ひます、從つて脊中の曲りなどにも氣を注けますから、或は前よりも增へるか知れないと思つて居ります。併しさういふことが縱しあるにしても、兎に角事實上少なからうと思ふ理由もあります、で今日は其理由を述べたいと思ふ。

それは何であるかと云へば、西洋にある病氣で我國には甚だ稀である、即ち屢々脊椎の曲り方を促がす病で夫は初めて英吉利の學者が研究したものである

から英吉利病と云ふ、日本では佝僂病と醫者の間に名づけられて居ます、西洋人の間には英吉利病と云へば皆知れて居ります。佝僂病は子供が滿一歲か二歲位、誕生過ぎても立つことが出來ない。卽ち足が弱い、或は足が曲つて居る、脊骨が著しく曲つて居るといふやうなことで一般に他の子供よりも弱い。斯う云ふ風な病氣が佝僂病となります、是は骨の軟かになる病氣で、骨が硬くならないのです。體の目方に依つて何方へでも骨が曲り或は折れます。此病氣は從來我國に於ては至て少なく、或る專門家は我國には殆ど無いといふ位に言つて居るが、關東とか中國とかには割合に少ないけれども、東北地方には可なり多くあります。北陸道、東山道、北海道邊へ行きますと大變に多い、今日では我國に於ても佝僂病は矢張り西洋と同じやうに在る、といふことに、醫者は勿論普通の方でも大抵知るやうになつて來ました、東北地方には佝僂病が斯くの如くありますが、併し日本全體から見れば左程多いことはなく、却て少ないのであります、是が西洋であると東京のやうな大都會、伯林や巴里などにも非常に多い、殊に貧民の子供になると、足の曲つて居らない子供は稀な位で、其結果西洋には脊椎側彎の多いといふことが分ります。我國に於ては佝僂病が無いことはないが、

第四圖



比較的少ない、此佝僂病の少ないことが脊椎の側彎して居る病人の少ないといふ一つの說明になると思つて居ります。

其次には子供の育て方が違ふ、西洋の私共專門の書物には、脊椎側彎の原因として必ず母親が子供を斯

う云ふ風に抱く（第四圖）子供を左腕に抱いて右の手で仕事をする、抱かれた赤ん坊は母親の頸に掴まつて居ると、勢ひ脊骨が右に曲ります、ですから脊椎側彎は割合に右に彎する、右彎が多いとしてあります、日本の女には斯う云ふ工合に赤ん坊を抱いて



第五圖

色々勝手な仕事をすることは出來ませぬ、赤ん坊も相當の重量があるから日本の女では六ケしい、西洋人は男女共日本人に比して體格が偉大で力が強いから、婦人も一時間でも二時間でも赤ん坊を抱いた儘片方の手で仕事をして居る、是が若し脊椎側彎を來す原因の一つだといふならば、我國に少ないのは我國の母親は斯ういふことはしないからではないかと思ふ。日本の方には見せる必要はないが、日本の母親は斯ういふふうにして仕事をして居る（第五圖）脊中に脊負つて兩方の手を働かせる、雙方の手で仕事



第六圖

をするのが便利だから脊負ふのが力が弱いからか、多少議論はありませうが、西洋では脊中に脊負ふことはしませぬ、力が強いからしないのか、又は他に不便な理由があつてか、何れであるか分りませぬけれども、兎に角大體に於て西洋と日本とは赤ん坊の取扱方が違ふ、また日本の婦人で前に抱くことが

あるかと云へば、斯ういふ抱き方は行ります（第六圖）併し是は極く小さい、ほんの乳呑兒の所謂懷ろ子でなければ、斯う懷ろの中へ入れることは行りませぬ、誕生近い子では如何かと思ひますが、まあ斯ういふ工合でやりますから、脊中に脊負はれるにしても、腹に抱かれるにしても、西洋の母親が左の手に子供を抱くのとは趣が違つて、餘程赤ん坊に餘裕があつて、隨分働けます、脊負ふ方は脊中を眞直にして母親の體に結び附けられて居るが、併し一方の手に抱かれて居るよりも幾分か窮屈でありませぬ、若し西洋人が左の手に赤ん坊を抱くことが脊椎側彎の原因だと認めて居るならば、其原因は我國にはありませぬ。

夫れから第二に脊椎側彎の少からうと思ふことは、總て小兒科の書物や又昔の漢法の書物にも、赤ん坊を早く立たしてはいけない、未だ筋肉や骨骼が完全に發育せざる時に、餘り早く起立歩行を強ふると、足が曲つたり脊骨が曲つたりすると言つて居ります、西洋でも勿論之を唱へて居つて、昔羅馬に脊椎側彎が多かつたのは、羅馬の婦人が子供を早く歩かせるものだから遂に脊骨が曲るのだといふ例などもあります、ですから、早く立たせたり歩かせたりすることを子供に強ふるのは良くありませぬ、若し立たせるとしても、多少之に補助を與へる、助けて歩かせると子供が左程困難を感じない、其點に於て日本と西洋と多少違ひはせぬかと思ふ、西洋では多く子供を始めて歩かせる場合には、未だ歩けないのを脊中を片手で摘まんでブラ下げて歩かせる、日本では前の方から手を取つてあんよをさせて居る、是は確かに違ふだらうと思ひます、併し斯ういふことは知らず識らず暗合するものですから、必らず西洋では斯うするとも限りませぬ、日本と同じやうにすることもありませう、が先づ一寸話に聞いた所などでは、初めて起立歩行をさせる時分の狀況が少し違ひます、赤ん坊が立ち初め歩き初める前に、我國に於ては必ず這ひます、這ひ方は四ッ這、高這、蹩り這

第七圖



など〻色々ありますが、一定の期間這つて夫れから初めて立つのであります。西洋婦人などに聞いて見ると、西洋の子供も矢張り這ふさうですが、自分の記憶に間違がなかつたならば、先年大學に居られたベルッ先生が、日本人には人類の祖先の狀況が少し殘つて居る、即ち日本の子供には四ッ這の時代が殘つて居る、西洋の子供には殘つて居らないといふことを能く言はれた、兎に角西洋人が見ると、日本の赤ん坊は這ふ期間が永いやうに見える、私はベルッ先生の話を聞いて居つたものだから、西洋の赤ん坊は這はないで直ぐに立つかと思つて居つたが矢張り這ふさうです、又西洋では家の構造が違つて、下は牀でありますから、日本の疊とは大に違ふ、若し八ヶ間しい母親であつたならば、著物を汚すから板の間は這はせないでせう、日本でも土間は這はせませぬ、それが西洋は總てが土間で、椅子に掛けなければならない、のですから這ふに不便に出來て居ります。私は西洋の母親に土間を這はせるかどうか尋ね

て見ましたところ矢張り普通は這はせないで、少し餘裕のある家ではベットの倍もある位な大きさの臺を作らせ、四隅に欄を當てヽ其上で赤ん坊を這はせて遊ばせる、是は私自身に見たことはありませぬが、日本の小兒科專門の人が見たと言つて居ります、併し大都會の普通の家では、斯ういふ大きな卓を置いて遊ばせはしないだらうと思ひます、餘程富豪の家庭でなければ六ケ敷い、今の私の聞いた人は獨逸の田舎の人ですから、其人の土地ではさうやつて居つたのでせう。村落なり地方の小都會に行きますと、家屋の間取が餘程大きく出來ますから、臺なども出來て特別の裝置を以て這はして居るが、這ふのは比較的短かくはないかと想像される。西洋婦人も或は短かいかも知れないと言うて居る、何故かと言へば西洋の部屋の中は、日本の部屋に比して赤ん坊の立つのに便利が多い、椅子とか卓子とか、摑まる處が多くあります、それが我國の部屋の中であると、火鉢とか障子の桟とかに摑つて立つ、火鉢は危いから摑まらせないかも知れぬが、先づ日本の家では一寸立つ道具が少なうございます、さういふ工合で、西洋の赤ん坊は日本の赤ん坊に比して早く起立步行を強ひはせぬかと思ふ、若し早く起立步行を營むならば、其結果として脊骨が曲るといふことがありはせぬか、何故日本人に脊骨の曲つて居る子供が少ないかと云ふと、今の這ふ期間の長いことが一つの理由になつて居りはせぬか、一ケ月二ケ月十分這つて、筋肉を練習し骨骼を丈夫にして愈々立つ、それが西洋の子供は少し早く立ち過ぎる、筋肉及骨骼が未だ十分に健康でない時に當つて、自分も早く立ち、傍からも早く立たせる、壯健な子供は差支ないが、多少虛弱い子供は骨が曲るといふことになりはしないかと思ふ、是が日本と西洋の子供の間に於ける、育て方に就ての差異であります、兎に角西洋の專門の書物には必ず脊椎側彎は母親が左手に子供を抱くから來るといふことが書いてありますから、それを事實としますと今私が述べ來つたやうな事柄は、我國に

脊椎側彎が少ないといふことの說明になりはせぬかと思ふ、そこで私が興味を持つて居りますのは、日本の壯健で產れて壯健で育つた赤ん坊は、一體いつ頭這ひ初め、いつ頭立ち初めいつ頭步き始めるか之を知りたいと思つて居ります、西洋の赤ん坊と比較してどんな差異があるか私共普通に聞いて居るところでは、誕生三月で立つて步けば通常であるといふ、併し私自身も子供を澤山持つて居りまするし、又知己の人にも聞いて見ますが隨分誕生前三月位で立つて居る子供もある、どの位の期間這ふかといふと、一月や二月それ以上も這つて居つて、誕生三月で立つのが當り前としてありますが、誕生で立つ子も丈夫な子には隨分あります、能く老人が、お前は今でも壯健だが、壯健な筈だ、赤ん坊の時分に誕生の餅を脊負つて立つたことがあるからなどいふことを言ひますけれども誕生で立てない子供も澤山あるに違ひない、病氣をした子供は別ですが、無病息災の子供は何ヶ月間位這つて、然る後いつ頭立ち、いつ頭步くか、どの點が日本と西洋と違ふか、是は一寸醫學上面白い研究だと思ひますから、是非此婦人衞生會の方々に御願ひして雜誌へでも出して、そして多くの母親樣方に御自分の子供に關する經驗の御返事を出して戴くと大變面白いと思ひます。

時によると其立ち方の遲いとか或は步き方の遲いとかいふことで、早く病を發見することがありますから、是は大變肝腎なことでありります、滿二歲になつても立たぬとか步かないとか云ふなら氣が附きますが、誕生三月一ヶ年半位で立たないのですと、是は晚で育ちが遲いのであらう位に言つて怪まないで居る、所が豈圖らんや其子供には病氣があるといふことになります、ですから日本の無病で育つた赤ん坊は、凡そどの位の日數を經て立つかといふことを大體知つて居ることは、早く病を發見する點に於て大變必要であります、玆に一つの例を言へば、生れながら腰の關節が外れて居る子供、斯ういふ子供の立ち方は非常に遲い、二誕生も經つて初めて立つとか

歩くとか、或は一ヶ年半も經つてからでなければ歩かない、是は早く氣が附いて醫者に行くと分るのですが、通常唯遲いとばかり考へて、愈々歩き始めて半年も經つてどうも歩き方がをかしい、跛をひくといふので初めて醫者に連れて來る、そんな風で生來腰の關節の外れた子供を醫者に連れて來るのは滿二歳位であります、大體母親が、壯健な子はどの位の日數を經ると這ひ始め、立ち始め、歩き始めるものだといふ凡その見當を知つて居ることは、大變必要なことで、若し大略の見當の日數に達しても猶立ちもせず、歩きもしないといふなれば、何か病氣があるに違ひない、で此私立衞生會あたりの方々が五十人なり百人なりの答を集めて平均を取ると、病を發見するにしても早いと思ひます、小兒科の弘田博士などに聞いても矢張り分りません、どうしても統計に依て調べないと駄目です、一人〱の母親に聞いて見ても分らない、五人六人の子供があつても感冒をひいたとか病氣をするとか云ふことがある、赤ん坊は僅かの病氣でも非常に障るから、さうなるといけませぬ、又私などは不注意にして氣が附かずにしまつた、子供もあるし中には日記などに留めて居つたのもありますが、さういふ問題が出て來ると直に答へることは一寸六ケ敷い、先づ末の子が一番覺えて居る位で、長男長女に遡つて考へて見ると一寸分らない。兎に角さういふ工合に我國に脊椎側彎が少ないといふことは、多少理由も有り得ると考へます。

偖て此少ないといふことで、私共が安心してよいか、特に注意を加へる必要はないといふやうに、早呑込みに考へると大變な間違であつて、現在の所では未だ少ないやうに思ふけれども、私はだん〱増して來はせぬかと思ふ、何故かと云ふと、日本の女子の生活狀態が從來と少し變つて來ました、從來は皆樣の如く學校へ通つて腰掛ることがなかつた、坐つて居ることのみが多いと、少し位脊中の曲つたことには氣が附かずに濟むし、又自分も知らず、周圍の

人も餘り意に留めない、夫れが今後はだん〳〵立つて居ることが多くなります、斯う云ふ風な集會でおつても、何れにしても是からの日本の婦人は立つて仕事をするなり話をするなり、立つ機會が今迄より非常に多い、從來と反對になつて來はせぬか、大勢の中で廣い室で立つて話をするといふことが婦人の間に多くなつて來ると、體の格好の僅かに惡かつたものが大變目に附くことになる、從來は餘り氣が附かなかつたのが、立つて歩く爲め一層人の目に附いて、どうしても注意を加へなければならなくなるだらうと思ふ、即ち或る程度迄歐羅巴風の社交狀態が我國に這入つて來ると、脊骨の曲り方に就て、八ケ間しく云ふ人がだん〳〵殖えて來ませう。私自身の經驗に依ても、此數年來多少は殖えて來たやうに思ひます。母親なりお祖母さんなりが、自分の娘は格好が惡醜い、どうしたのであらうと醫者に連れて來る、既に私は四五人さういふ人を見ました、そして其四五人の原因は皆同じであつた、何れも十一十二の娘で、私は直ぐ發見した、娘さんに三味線を習はせて居りはしませぬかと聞いたら、其通り、運動の爲め三味線をやらして見たとのことでありました、三味線を小さな子供にやらせるとヒヨツとすると脊骨が曲る、是は外でも聞きました、淺草の女學校あたりの生徒は、三味線の稽古が多いやうです、日本橋あたりもさうで、何れも下町の女生徒に脊椎の曲りが多いやうですから、三味線などが大變關係しはせぬかと思ふ、三味線を抱へた時分に、小さい中は三味線が膝の上に載せ切れまいから、右の足を伸ばして載せる、そして左の手を上げる、毎日々々さういふ姿勢でやりますから、其癖が習慣となつて、自然に脊中が曲つて仕舞ふ、私は子供に稽古させる三味線は小さくしたらどうかと聞きましたら、そんなことは出來ないと言はれました。それなら其子が特別に趣味があつて、どうしても稽古するといふのなら仕方がないが、慰みとしてなら少し大きくなつて、十二か十三位になつて三味線を抱へることが出來る

やうになつてから習はせたらどうかと聞きましたら、是も十二三歳になつてはいけないと云ふことでした、そんな譯でどうも樂器などの關係で、脊中の曲る人がありますから、今後は我國の社交狀態がだん〳〵歐羅巴風になれば、母親なり祖母なりが自分の娘の形に就て始終注意し監視して、其結果從來よりも矢張り體つきが惡くてはいけないと言はれるやうになると思ふ。三味線などに就ては十數年前なれば當り前と思つて、醫者の處に診察を受けには來なかつたでせうが、近頃はポツ〳〵診察を受けに來るやうになつたのを思ふと、餘程昔とは違つて來て、脊骨といふことに就て八ケ間しく考へるやうになつたのであらうと思ひます、唯今の所我國に脊椎側彎は少ないけれども、油斷して居るとだん〳〵殖えて來て取返しの附かぬことになります、又我國の學校の調査で、西洋と違ふのは、猫脊と云つて脊中が前へ曲る。私共の方から云ふと前後に曲つて居るといふのですが、是が非常に多い。此猫脊は其人の注意位で左程八ケ間しく言はないでも濟みますが、側方へ曲るのは立派な病で、中々治りませぬから、少しでも側方へ曲る癖があつたら早速治さなければならぬ、寫眞にあるやうな姿になつたら最早治りませぬ。では何ういふ風に氣を附けるかといふと、日常の動作が平均して居らなければならぬ。歩く時分に一方の肩が揚つて居つては見苦しい、表から見るのですから大抵肩で見ます。或は體格檢査の時分に脊柱が彎して居るといふ話があつたら、是は一ツの病で、之に對する治療法があるから、醫者に來た方がよいと思ひます。

それで妙なことであるが、我國に於て文部省の調査では、小學校生徒の六七歳（尋常一二年生）に脊椎の曲つて居る者が多い、それから三年頃から少くなつて十四歳位で又始まる、女學校の一二年頃に大變多くして其ズツと上の高等女學校、女子師範學校位になると又少くなります。是等はどういふ關係であるか、文部省の報告などには特別の說明もないが、或

は學校で教師が注意する結果だん〲直つて來るのかも知れませぬ。脊椎側彎の診斷は餘程六ケしいので、吾々專門家であつても果して脊椎側彎といふ診斷を下してよいかなか〲分らない、ですから學校醫が報告した、脊椎側彎を直ちに脊椎側彎と見て宜しいかといふに、其間には多少の割引をしなければならぬので、文部省の報告にある脊椎側彎の數を直ちに正當のものと見る譯には行きませぬ。何故かと云へば高等女學校或は小學校でも、女子が多いのですのに、女子の身體檢査をするといふことがなかなか困難であつて、學校醫が悉く女子の身體檢査を行つて、脊椎側彎が何人、脊椎後彎が何人と、正式に診察して居るかどうか多少疑ひを容れなければならぬ。且つ愈々脊椎側彎と認むべきものであるか、又は病と云ふべき程のものでないか、それが六ケしい。僅か脊骨が曲つて居るといふので、直ちに脊椎側彎の診斷を下してよいか、私共に言はせると、學校醫の報告したものは重に脊椎側彎といふ程でなくて、寧ろ是は勝手に附けた名ですが、不良姿勢、或は不注意の姿勢ともいふべきものが多いのではないか、學校に入つた時分――尋常一二年の時分は滅茶々々な風で登校して來たのが、三年位になるとなか〲大人びて來て、體つきまでも自分で幾らか氣を附けるし、先生に眞直ぐ前を向けなど〻言はれる。それで脊骨が眞直になつたのではないかと思ふ、然らば十四歳の時分にどうして曲るかと云ふと、是は直ちに說明は出來ない。兎に角我國に於ける多數の脊椎側彎といふ診斷を下された娘子供は、多くは不良姿勢で、それ程重くなつて居るのではない、脊椎側彎といふ診斷を下す時分には、或る程度迄脊骨が變化して居り、捻れて居らなければなりませぬ、吾々醫者の間でも元は脊椎側彎は單に脊骨が横に曲るのだと思つて居つたが、近頃は研究の結果横に曲る許りでなく捻れるものであると分つた(第二圖參照)此捻れが現はれて來れば立派な脊椎側彎で最早餘程注意して治療しなければ直りませぬ。併し小學校の尋常

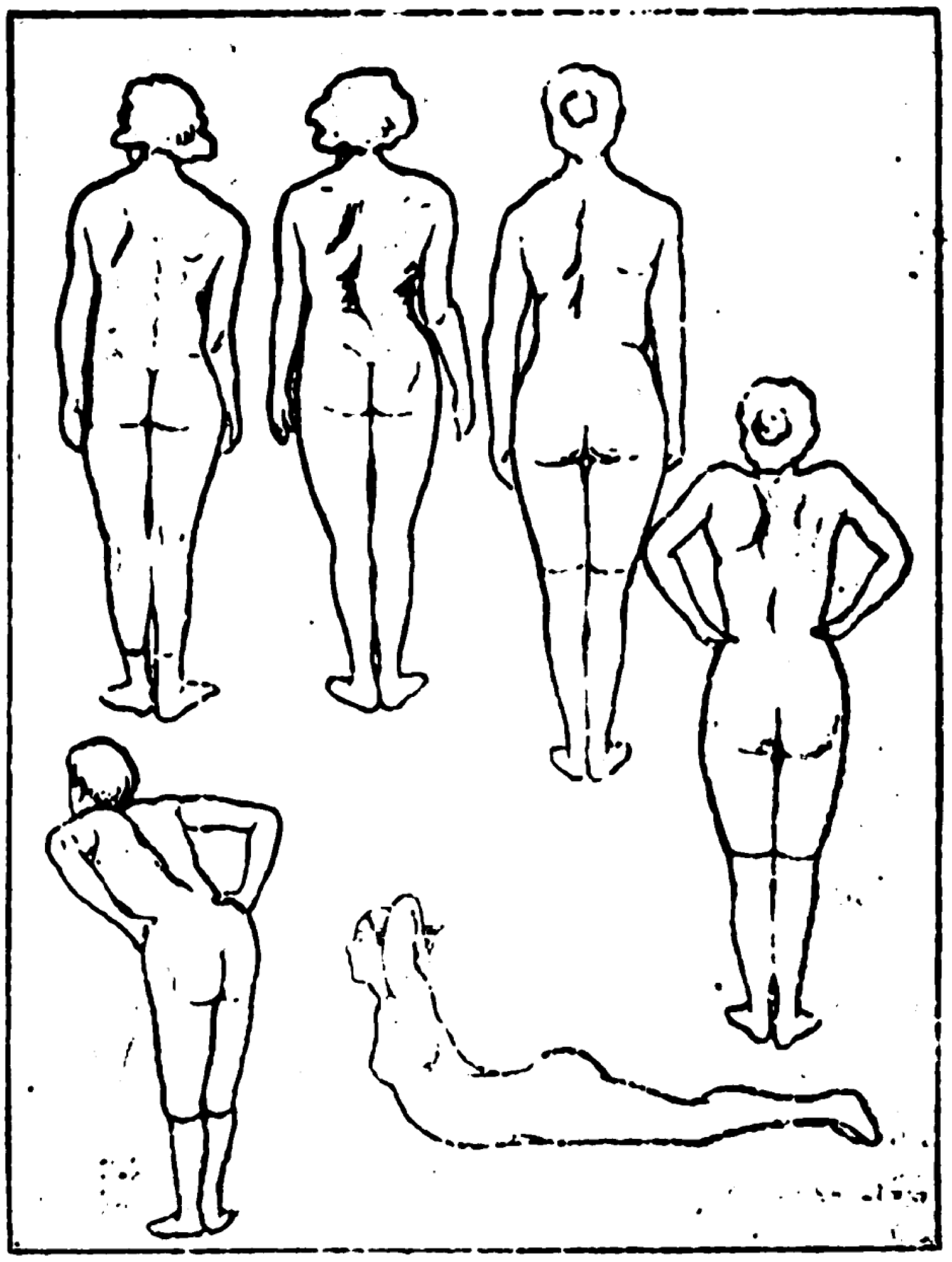
一二年の子供には、此揃れは必ず無いと思ひます。單に肩が上つて居るとか下つて居るとかいふ位ではないかと考へる。それから日本人固有の猫脊は脊椎側彎を豫防するのであつて、猫脊であると脊椎側彎は來ませぬ、是は西洋の書物にも書いてありますが、我國の學校醫の報告によると、猫脊は中々多く、百人の中九人十人位はある、此猫脊は脊骨が横に曲りませぬ、是も脊椎側彎の少ない一つの原因だと思ひます。どういふ體つきの人が脊椎側彎になるかと云へば、大抵は脊丈の細い、脊中のすらりとして眞直な人です。中には寫眞にあるやうなジックリした人もありますが、普通は筋肉の薄弱な人に多い。吾々の脊骨といふものは脊骨だけで眞直ぐになつて居るのではなく、周圍に筋肉が附いて、筋肉の力で眞直になつて居る。筋肉が弱い人は脊骨が自己の力で曲るのですから、筋肉の丈夫な人には少ないのです、我國で女學校や又は專門教育を受けて居る女生徒に脊椎側彎が少ないといふのは、多少猫脊が西洋婦人よりも著しくなつて居る結果で、又日本の婦人は疊の上に坐つて居る結果、多少屈み勝になる。是が恰も脊椎側彎の豫防法になつて居ると思ひます。併しながら餘り屈み勝になるといふことはよくない。是等は所謂中庸を得なければなりませぬ。西洋の人が無暗に反るのは、穿物の關係や何かですから、日本の穿物を穿いて反つては體裁が惡い。是は別な問題でしたが、兎に角女學校などに脊椎側彎の少ないのは喜ぶべきことでありますから、今後一層注意を要することであります。

尙ほ側彎が増しはせぬかと思ふことは、近頃だんだん脊の高いといふことが、婦人の決して極りの惡いことでないとなつて來ました。一寸可笑しいことを言ふやうですが、元は脊丈が高いと脊丈を盜むといふ調子があつたもので、膝を曲げたり脊骨を曲げたり、體に曲線を描いて脊丈を餘り高くないやうに見せる風があつた。どういふ處から來たことか分らないが、多分疊の上を歩く時分の考から來たものであ

りませう、八疊十疊十五疊位の座敷の中を起ち居して居るから脊丈が高いと餘計目に附くかも知れない。併し百疊敷の座敷になると脊丈の高いのは餘り目に附かない。我國の社交の範圍では室がさう廣くないから、それで脊丈が餘り高いと其婦人は多少遠慮して、脊丈を低くするやうにして居つた。が是は今後だん／＼なくなつて、脊丈が高いのは少しも遠慮することはいらぬ、高ければ高い儘で隱すことはいらぬ。又低い人は成るべく高く見せやうといふ氣風がありはしないか、是はあつて然るべきことゝ思ふ。何故ならば斯ういふ廣い室になると、小さな人は益々小さく見える、高い方が歩いたり何かすると、確かに立派に見える、若い方々に立派とかよいとか云ふ事を奬勵する譯ではないが、餘り見苦い風はしたくないといふのが人情で、又一つの禮儀でもある。人が見て不愉快なやうな樣子は餘りしないで、多少人をして心持を害さぬやうな心得で世の中に出なければなりませぬのですから、お客に行くには髮を梳り顏を洗つて行かねばなりませぬ。衣服や髮形だけ美麗にするといふ譯ではない、矢張り姿から多少人の不愉快にならぬ丈けの注意を加へるのが當り前で何等不心得ではないと私は考へます。そんな工合で百人二百人の集りが漸次我國に於ても多くなりますから、脊の低い人よりも相當に高い人の方が立派に見えます。併し身長を多少立派に伸ばして行かうと思ふと、今度は側彎が起ります。眞直にするに就ても始終注意して、側彎の起らぬやうにしないといけませぬ。斯ういふやうなことで、從來側彎を少なくした原因の一つが今後は無くなつて、却て側彎が增して來はせぬかと思ふ。脊の格好などに就ては從來は一切構はぬといふ考であつた者も、矢張り多少氣を附ける。是は男女共自分の體に就て多少注意を拂ふのは、苟も人と人と交際する以上、或る程度迄嗜みをしなければなりませぬ。好んで亂暴な風俗をして人に嫌がられるなどは、愼むべきことであります。それで脊丈を高くする場合に脊骨の曲りが起つて來

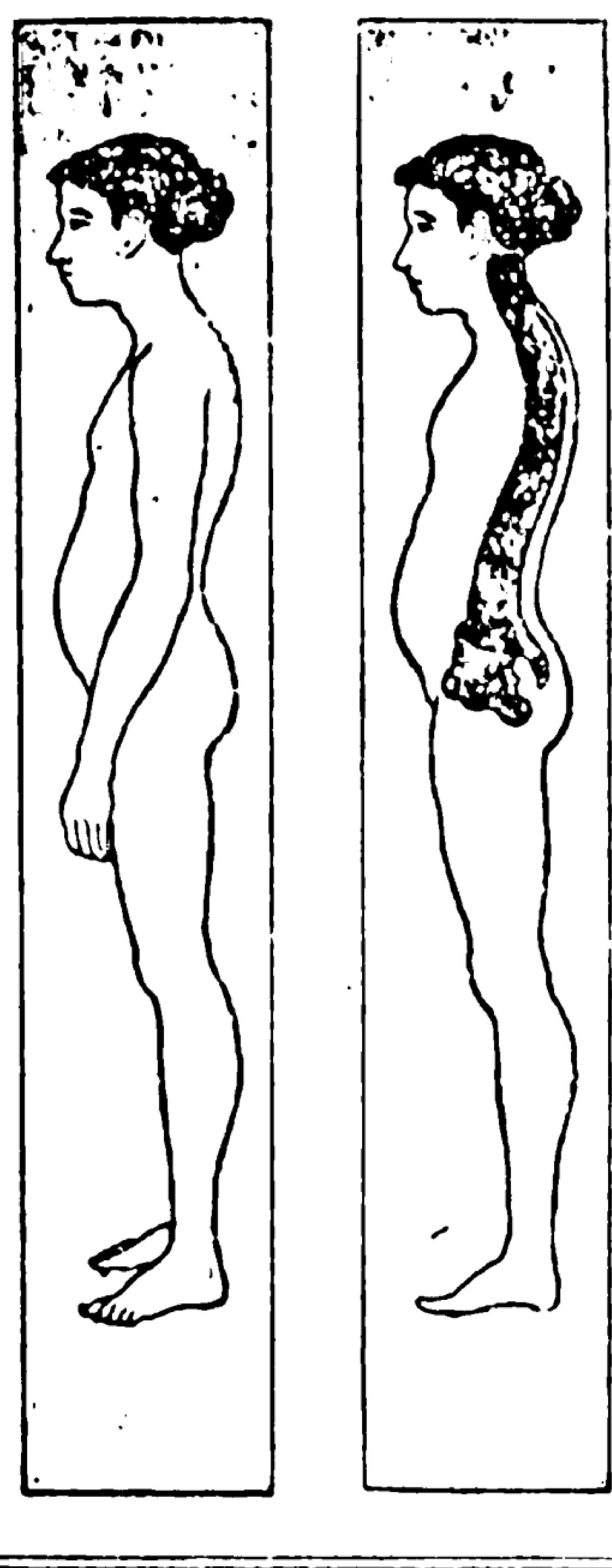
たら、醫者はどういふ風に注意して其の曲りを直すかと云ふと(第八圖)斯ういふ風な體操で直す、一つのは脊丈を伸ばすのであります。吾々の脊丈には朝

第八圖



夕に依て差がある、軍醫が測つた所によると、朝起きた時には三分脊が高く夜は三分縮むと云ふことですが、是は確かにさうあつて然るべきことゝ思ふ。私共でも年齢の進むに從つて少さくなる。二三分位は縮むものですから、是は其人の注意に依て高くも低くもなるものです。それから自己の意志に依て餘程伸ばすとが出來る。足を曲げないで眞直に脊を伸ばすと三分位伸びる。第八圖は伸ばした姿勢です。踵を上げないで頭の上に手を乘せ直立します。之を毎日々々行ると脊が伸びます、一時日本の新聞に亞米利加から來た身長機で、カーチラーと云ふのゝ廣告が出て居りましたが、あれは吊る機械で、體を吊して伸ばす、而も若い十六七歳の人でなければいけない、年を老つた人は幾ら吊しても直らないと云ふのですから、特別に此機械を買はぬでも、自分で此繪にある通りの姿勢をとつて、毎日行つた方が宜うございます。そして年の若い人程伸びます、けれども只伸ばしただけでは側彎になる虞がありますから、伸ばすと同時に筋肉の發達を圖らなければなりませぬ、脊を伸ばして置いてから腹匍ひになつて脊中を反らすと、筋肉が張つて行く、永い間日本の座敷で座つて居ると疲勞るから、勢ひ屈むやうになる、

座るといふことは決して休息ではないのです、何故かと云へば三十分も一時間もチャンと座つて居ると、脊中を伸ばす筋肉が働いて哭れなくなる。從つて脊を折角伸ばしても、矢張り筋肉の練習が之に伴はなければなりませぬから、それで斯ういふ體操をさせます、是は脊中の曲つた人にさせるのですが、少しでも不良姿勢、不注意の姿勢の人なり此の體操をさせるが宜敷、只室内體操をすればよいので、左程六ケしいことはないのであります。デどんな體つきがよいかと云ふに、此處がどの位曲つて、此處がどうと數字を以て示すことは出來ない、先づ多數の人を見て、其の中で好いのを標本にするより外仕方がありませぬ(第九圖)此姿勢は西洋では遲緩姿勢と言つて、不良姿勢の方になつて居りますが、我國の婦人の姿勢は皆是れです、婦人で男子と同じやうに緊張した姿勢はありませぬか、西洋婦人は遲緩した姿勢は惡いことになつて居ります、我國では衣服の格好や何かで是が當り前になつて居る、若し日本の穿物を穿いて西洋人と同じやうな格好であつたら、却て可笑しなものでせう。兎に角以上述べ來りました如く脊骨の曲り方は脊椎が前後に曲る、頸椎が前に曲る、胸椎が後ろに曲る、腰椎が前に曲る、先づ是が生理的の曲り方で、此方の曲り方は多少過度の曲り方があつても病氣といふ程ではないが之に反し



第九圖

で脊骨が側へ曲るといふ時分には、是は容易ならぬことですから、脊椎側彎の前徴となつて居る不良姿勢の時代に直さなければいけませぬ、前申したやうに不良姿勢といふのは、小學生や總ての婦人に多いと思ひますから、之を直しますと、幸ひ西洋に比し

て我國は何處迄も脊椎側彎が少いといふ名譽を取り得ると信じます。學校醫が脊柱正とか彎とか云ひますから、其時分に學校の注意に依て一層著しかつたり診察を受けるやうにすれば、將來社交に立つても姿形に就て恥かしい思ひをせずに濟む、且つ此事は贅澤でもなんでもない、自分の心一つでどうにもなるので、金錢を費やすことでないのですから、是は是非皆樣が注意して欲しいと思ひます。尙先程述べた脊椎側彎が我國に少ない理由の一つとして、子供の育て方が餘程影響して居りはせぬかと思ひますから、遣ひ方、歩き方、立ち方といふことに就て、何れ會の方の雜誌にても書きまして、會員諸君の御返事を集め得たならば、大變私の參考になると思ひます。

叢談

初夏の衛生

予は至て現代の學理に暗く、且つ人各々體質を異にし、性格を異にし、又その職業、貧富等に由て皆その生活狀態も多少異ることであるから、萬人に適當せる衛生法を說いて滿足を與へることは迚も出來やう筈はないが、折角の事であるから、ほんの茶飲話に愚拙が思付いた節々を少々お話致して見やうが、元より衛生談などゝ云ふ程の纏つたものにはなるまい、自分一個の愚案を思出るまゝに順序もなく縷述することになるが、或は多少俗人の參考となるやうな事もあれば結構である。

今日のやうに斯うじめ〳〵と降る時は殊にさうであるが、夏の初はどうも氣象の變化が烈しい、急に單

衣を著なければならぬ程暖になつたかと思ふと、又忽ち袷衣に羽織の姿に戻らねばならぬと云ふやうな風である、尤もこれは一つは實際の温の變化は、それ程甚しくなくとも、急に變れば大變激しく感ずると云ふ理由もあるが、兎に角初夏の候は別してそれが著しいやうに思はれる、妙なもので、同じく地水火風で出來て居る身體のことゝて身の周圍の地水火風に變化が起れば一々それが身體の生理に影響を及ぼして來る、生理に變化が起れば、これを離るることの出來ぬ精神上にも變化の起るのは免るべからざる理である、天氣の好い時には氣分も好い、天氣の惡い時には自然氣分も陰鬱になる、これ皆生理的の現象である。それで衞生とか養生とか云ふ事になれば、外界の變化だけを理化學的に說明した所で仕方がない、その變化を身に受ければ如何樣の生理的變化が起り、それが又精神上に如何樣の影響を及ぼすかと云ふことまで立入つて研究をして來ねばならぬが、扨てそれがなか〳〵六ケ敷い、今日の醫學者にも餘り滿足の解釋がつかない部分が多いやうに思はれる。それで餘り科學上の立入つた話には、元より私には出來もしないが、殊に女の衆が讀むと云ふのなれば、理論めいた事はよしにして、いよ〳〵俗談になる。

予の思ふには、前にも一寸云ふた通り、季節の變目には實際氣温、濕度等も變化動搖するが、それを感ずる度合は一層著しいやうに思はれる。それでこれは餘程考へて飲食衣服等を調節しないと、身體をこわすことになる。今日は急に暑くなつたと云ふて、袷と袷羽織を一時に脫棄て單衣に更へる、寒暖計を見ると實際は僅かに二三度位の差である、詰り餘り激しく感ずるので、その調節の度合が過度になる傾きがある、それで暮方には又ひどく寒くなつたやうな氣がして溫袍に纏まると云ふやうなことになる、斯うなれば體溫が自然の影響よりも寧ろ人工的に狂はされて、反つて感冒などに罹る原因となるのである。斯樣な季節には、先づ羽織を脫ぐとか著る位の

事で調節を取るのが適當である、夜具蒲團に就ても同樣である、大人は先づ大したこともないが、小兒には餘程著しい關係があるから、無闇に小兒を犬可愛いがりに可愛いがる母親などには、少しく此邊の事を注意してやるが宜しからう、自然の移り變りは、通常人の感ずる程に無法なものではない。

それから食物に就てもさうである、稍や暑くなつたやうな感じがすると、忽ち肉類を遠ざけ、魚肉すら止めにして殆ど純植物食にする、これは平素餘り肉食しない吾々には大した影響はないやうなものであるが、一方に於ては八百屋、菓物屋等に種々の新しいものが出る、珍らしいから比較的高價を拂つて食するが、大抵未熟のものであるから、その味もほんとうの味ではない、榮養上の價値も少ない、のみならず往々消化を害する、單に珍らしいと云ふだけのことであつて、衞生上並びに經濟上損である。要するに凡て急劇に變へることは宜しくない、少なくとも損である。何事もさうであるが、殊に衞生上に於ては中庸と云ふ所に止まるのが實際上最も危險のない標準である。

話の序に目下水菓子屋に出て居る果物に就て少しお話をして見ると、第一に夏蜜柑、あれはボンタンとかザボンなどゝ同種類のものであるが、丁度夏期に熟するので珍重される、紀伊、淡路、周防、長門邊に栽培されて近年ます〳〵盛に出來るやうになつた、長門産が最も評判が善い。熟したものは甘酸宜しきを得て、種囊の所には僅かに苦味もあり、誠に清涼劑、健胃劑とも稱することが出來る、併し彼の囊は勿論、囊内の顆粒も到底人間の消化器内で消化せらるべき性質のものでない、殊に未熟のものは酸味が甚しいから、小兒などに與へれば胃腸を害する、病人にも無論そのまゝ與へる譯には行かぬ、消化器の健全な人は、彼の位の不消化物を食べても消化器を害するものではない、寧ろ便通を良くして宜しい、多く食すれば勿論何でも害がある、病人や小兒には潰して、汁を絞つて砂糖或は單舍利別を加へて、適

度に冷やして與へれば、天然の枸櫞酸リモナーデである。立派な清涼劑である。

苺は德川時代の末に和蘭陀苺が來て、近年は盛に栽培さるゝやうになつて、元來苺には非常に種類が多い、その內の優良品なる和蘭陀苺、卽ちストローベリーの內にも幾種類かある、普通果物屋に多く出て居るのは、圓くて少し扁圓形をなして、深紅色をして居るもので、ドクトルモーレー、と渾名のついて居る種類である、あれは肉が軟かで、汁も多く香も善い、栽培も容易であるので、先づ品質は最良の方である。シャプレースと云ふ果の大きな長みがゝつた大變甘いのもある、又マンゲリツトルプルタンと云ふて頭の尖つたのもある、これは甘味も酸味も香も劣つて居るが早く出來るので珍重される、晩熟のものでゼチラーサンジーと云ふのは形も大きく長いが、酸味が強い、苺は生食しても良し、殊に乳をかけ砂糖を加へて食すれば頗る佳味である、又ゼリーにし、舍利別に製し或は酒も出來る、ジアムも造れるので西洋では非常に需用が多いと云ふことである、分析表で見るとストローベリの成分は、水分八五・九、蛋白〇・九、脂肪〇・六、可溶性無窒物七・〇、灰分〇・六と云ふやうになつて居る。然し苺は人に依ては反つてその香氣を嫌ふ人も間々ある、或は苺を食べると必ず蕁麻疹が出來ると云ふて恐れる人も稀にある、苺に對する一種の所謂特異素因と云ふものがあるのは奇妙な事である。ジャムを造るには、苺を潰して、文火で以て一時間程靜かに攪拌ながら煮る、而して苺百分につき砂糖四十分の割合に加へ、更に一時間程煮て、蓋物に取るなり、罎に入れるなり又は鑵詰にするのである。舍利別は實を入れずに、その絞汁を煮詰るのである。これには餘り熟さぬものが適當である。リゼーは苺を煮て、その汁を絞り、等分の砂糖を加へて煮詰める、冷れば自然に凝固まるけれども、普通尙ほ寒天や膠質を加へて凝固を促す。

それからバナナ、あれは元來熱帶地方の産であつて

琉球、小笠原島、臺灣等に產する芭蕉の實である、普通の芭蕉は數年を隔てゝでなければ花が咲かないが、バナナのなる實芭蕉は每年紫の花が咲いて、あんな實がなるのである。バナナの分析に依て見ると脂肪〇・五五、含窒物一・四四、含水炭素物二二・五五、灰分〇・八六と云ふやうなものであるが、その含水炭素物を分析すると蔗糖八・五、葡萄糖六・二、澱粉三・二と云ふ成績である、又灰分中には鐵を含むで居り、その上に消化醱酵素、ペプシンの如き消化劑をも含むで居ると云ふことである、生食に手數は入らず、味も善し、香も善し、軟かで、腹も膨れる、しかも消化が善く、便通を善くし、種々の點から見て、これ程榮養に富むだ、消化し易い果物は一寸無い、予は自分も好きであるが、人にもバナナを勸める、只內地に於ては少々値段が高いのは遺憾である、あれを小さく截つて、乾かして、粉にして團子のやうなものを製つても大變宜いと云ふことである。

食物の事は大抵この位の話にするが、尙ほ一言しなければならぬのは、飲食物は總て美味いと思ふものでなければならぬ、分析表や消化試驗の上で結構な物でも、その人が嫌いでは仕方がない、榮養と云ふものは食品の成分だけでは定められない、その人の消化器の狀態並びに嗜好と云ふことをも考へなければならぬのである。滋養灌腸のやうにして、口や眼や鼻に關係なく榮養物を與へる場合は別物で止むを得ぬことであるが、普通の飲食には案外に色や香が手傳つて味を助けるものであるから、此邊の事にも注意して、食器の淸潔は申すまでもないが、料理も總て美味さうに見えると云ふことが隨分大切な事である。

次には住居の事も少しく話して見やうが、先づ雨降り風吹きの日でない限りは、戶でも障子でもなるべく開放すに限る。先日も大掃除があつたが、春秋二回の大掃除を勵行することは結構な習慣である、併し大抵の家では强ひられて止むを得ず行ふとやうな風で、從つて衛生上の利益は考へないから、折角の

大掃除も家業を休むで、徒らに塵埃を起て、塵埃を被る位なことに終る傾きがある、あの各區の掃除日割を配布する時には、序に掃除の要點に就て衞生上の注意書或は說明書と云ふやうなものを配布したならば、多少效能があらうかとも思はれる、先日の大掃除には、疊を入れる前に、牀板の下に新聞紙を敷いてナフタリンを撒布した所が大分あつたと云ふことであるが、此等は確かに宜い方法である、牀下に申譯ばかり石灰を撒布することは廢めになつたが、あれは實際やめた方がよからう、總てタヽキにでもすれば宜敷からうが、少しばかり石灰を撒いた位では却て濕氣を引き汚穢くなるから、大掃除を勵行せしむる位であるから、衞生課の方でもう少し研究して、實際效果の擧がるやうに仕向けてもらひたいものである、只今のやり方では果して何の位效能があるか、甚だ疑はしいものである。私は何時も云ふことであるが、どうもこの疊を用うる以上は、我邦の住居衞生を彼此云ふことは甚だ困難である。先づ止むを得ぬから、なるべく塵を起てぬやうに戸障子を開放して掃除をし、其後も出來るだけ開放して置くと云ふ野原式を取るより外に仕方がない、これから梅雨になると、家の内は恐く濕つて黴が生えるが、どうも椽の下から濕氣がどん／＼昇るし、室内も斯う云ふ風では乾燥させる事も出來ぬ、衞生上誠に不都合な建築であるが、これが別に改良もされずに今日に至つたのは不思議な位な事である、種々の點から考へて、この疊の發明が日本の住居衞生に仇をしてゐることは夥しいものであると思はれる。毎年定つて梅雨のある國であるから、もう少し雨季の衞生が發達しさうなものであるが、一向その邊の考へは無いやうである。兎に角雨季に於ても室内だけは乾燥することの出來るやうな工夫をすることは頗る大切な事である。雨季の衞生と云ふことになると、話が後戻りして長くなるから又改めてお話しなければなるまいが、道路の改良は無論のこと、第一に室内の乾燥である。室内が濕潤する、氣温も高まりか

ける時節であるから黴の發生には極めて適當である、黴が發生する位であるから、眼に見えぬだけで、これと同種類のバイキン類の發育にも適當の時期である。それで單に衣服や書物だけが害を被むるのみならず、食物並びに人體そのものゝ迄も種々の危害を被むるのである。これに對するには獨り乾燥法あるのみである。併し斯樣な家屋では殆ど始末にいかぬから、先づ〳〵身體だけでも氣を付けなければならぬ。實際此の季節には病人が多い、殊に神經衰弱症、或は僂麻質斯の症狀が大部分で、小兒は消化器を害する皆直接その氣候の感作を被むるものと思はれる。斯樣な季節の養生法としては、なるべく室内の乾燥に努め、屢〻溫浴をし、氣分を爽快にし、陰鬱に打勝つやうに心掛けなければならぬ、この點からして俗に濕拂ひと稱して少量の酒類を用うることも、この場合には效がある。病人、老人、僂麻質斯の傾ある人は薄いフラネルの著物を著るは頗る適當である。少くとも腰卷に用うるが宜い。黴の生えた食物は食ぬが良い、殊に小兒の食物は傳染病流行時の積になつて、大抵一度煮熟したものを與へ、量を過さぬやうに注意しなければならぬ。甚だ實のない雜談であるが、初夏の衛生としては概略斯樣な事が思付かれる、これ以上話せば暑中の衛生に移るから、今日はこの邊で御免を蒙ることに致す。

臥位に就て

小寺照二郎

臥位、卽ち寢て居る時の身體の位置、更に平たく言へば寢姿と云ふものは、診斷上大に意味のあることでありまして、醫師の方では、自動的の臥位及び被動的の臥位、高背位、側臥位又は腹臥位などゝ申しまして、病人の身體の位置、寢姿を觀察して、如何なる病氣が、何處にあつて、何んな狀態であるかと云ふことを略ぼ診斷することの出來ることが御座います。ある病人は右或は左を下にして寢る、而し

てこの位置でなければ寢られぬと云ふて頑固にその臥位を固執することがありまするが、その位置は醫師の方から見ても適當の臥位であらうか或は不適當であらうか、又如何なる場合に不適當であるかと云ふやうなことは、何でもないやうであるが餘程大事なことであります。而してこれは何故にこの病人は斯様な臥位を擇ぶか、又何故にその臥位が適當であるか、不適當であるかと云ふことは、容易に理學的竝に生理的に解釋することが出來るのであります。

一　背臥位

背臥位又は仰臥、卽ち仰向に臥るのは、これは先づ最も合理的の臥方で、健康者にも病人にも生理的の臥方と云ふて宜しからうと思ふ。背臥位では、身體の重みが廣い土臺の上に掛つてゐて、血管や神經の大きなものは少しも壓迫を蒙らない、更に詳しく言へば、この位置を保つのには、少しも筋肉が特別に働く必要がないのであります。背臥位は隨分長く續けることが出來る、場合に依ては一個月以上もその位置を保つて、別に疲勞を覺えないのであります。

この場合に身體を支へてゐる點が四箇所御座います。卽ち後頭部、兩方の肩胛部、薦骨部及び跟骨部で御座います。所でこの四點は同一平面に在りませぬから、その間には上の方に凹が出來ます。前に擧げた部分の皮膚に壓迫、壞疽の出來ないように注意するには特に氣を付けなければならぬ所であります

これには、その凹みの生ずる處に塡物をして、身體の重量が平等に分たれるようにし、前に述べた所の四箇所にのみ壓の加はらぬようにしなければなりません。この背臥位に於ては、身體の下半部は被はれますから、他の臥位に於けるよりも體溫の放散が少ない、その爲に溫暖で快い感じが致しますが、これと同時に筋肉の緊張が弛む爲に、その結果、何となしに惰いような、賴ないような又力の拔けたような氣がするものである。それ故に背臥位は、能く身心を休息せしめ、輕く睡眠を促がし、體力を强める效能がありますが、併し健康の人も病人も、餘りこの

臥位を取る人は少ないようである、最初背臥位を取つても只暫時で忽ち他の臥位に變じてしまふようであります。

夢臥に襲はれる、所謂オビエル人は、長く背臥位を保ち難い、これは醫師の方から云ふても強ふる必要がない、又場合に依ては反て禁じなければならぬことであります。それから心悸、卽ち心臟の動悸の烈しい人、心臟病であるとか或は血管系統の病氣のある人などに於ても、その關係は同樣である。背臥位に於きましては、他の臥位、例へば左側臥位などよりも具合が惡い、これは背臥位に於きましては、胸部竝に腹部の內臟が心臟及び大動脈幹を壓迫して、多少循環を妨げる氣味があるからであらうと思はれます。

倘ほ病人が背臥位を取ることの出來ない場合、或は背臥位を取つては宜しくない、卽ちその禁忌とすべき他の例は、心囊の疾患、殊に心囊、卽ち心臟を包むでゐる所の囊に水が溜つたような場合、一側の肋膜炎及び肺炎、胸腔內の腫瘍、肺氣腫、肋膜及び肺の損傷などの場合でありまして、これは大抵病人自ら、適當の臥位を擇むものであります。併し何う云ふことを取るべきかと云ふことを問はれますれば、先づ肺炎などの場合には、その惡い方の胸が壓迫されないように致さなければなりません、乾性の肋膜炎などの時にもさうであります。然し肋膜に水が溜りましたような場合には、なるべく健康の側の肺が身體の壓を免れるように致さなければならぬのであります。前にも申します通り、病人は大抵自然に斯樣な適當な位置を取るものでありますけれども、往往熱の高い病人や、昏睡して居る病人、又は小兒などに於きましては、自然に適當の位置を取らぬことがあります。これはかまはずに置いても別段差支が無ささうに思はれますが、なか〳〵さうでない、隨分病人の爲に害になる場合があります。今一例を擧げて見ますならば、右側の滲出性肋膜炎の病人があると致します、その時には前の原則から申しますと、

右を下にして臥るべき筈であります、所が今背臥位を取るとか或は左側臥位を取りますときには、何う云ふ害があるかと申しますと、この病人は、右の方の肋膜腔に水が溜つて、右の肺の呼吸が妨げられて居りますので、左の方の健康な肺臓が餘計に働いて、右の肺の働の足らないのを補つて居るのであります、然るに今その左の方を下にしますときには、身體と滲出物の爲に健康側の肺臓も壓迫を受けて、著しく代償作用を妨げられるのみならず、惡い方の胸が上になつて十分被はれて居りませんからその部の體溫が多く放散され、その爲に皮膚も深部も冷却されて、滲出物の吸收が困難になると云ふ譯であります。

以上は普通の背臥位に就ての話でありますが、この外に高背臥と低背臥とがあります。

高背臥と申します中にも、單に頭の方を少しく高くするのより半坐位に至るまでの次第が御座います。それに由て腦の血行を器械的に調節するものでありまして、適當にそれを應用することは、治療上頗る大切な事柄であります。それでは如何なる場合に高背臥位を應用するかと申しますと、先づ呼吸が困難で、頸の筋肉も呼吸運動を助けるようになつた場合であります、卽ち肺氣腫、神經性喘息、心臟病等の場合、又諸種の偏頭痛、腦充血或はアルコール中毒などの爲に眩暈がすると云ふようなときには、この高背臥位を取らしめるのであります。

次に低背臥位は如何なる場合に應用するかと申しますと、腦は澤山血液を送らうと云ふ場合であります、それでありますから、失神した場合、腦貧血、又何處に限らず出血を來した場合であります、卽ち此時には腦貧血や失神を豫防する爲に低背臥位を取らしめるのであります。高背臥位と同じくこの低背臥位にも種々程度がありまして、甚しい場合には全く頭を下に垂れるまでに至ります、例へば重き失神の場合には、全く頭を下にして足を上に舉げなければならぬことがあります。ある聯隊醫務室に、非常に

強壯な一兵卒が報告を持て參りましたが、何う致したものか、見る中に突然倒れて殆ど死だやうになつてしまひました、そこで藥を與へたり注射をしたり種々なことを致しましたけれども、何うも效がない、そこで仕方がありまんから、他の兵隊に兩足を持たして逆にして強く振らしたのであります、それで以て漸く息を吹返したことが御座います、後で聞いて見ますと、この兵隊は齲齒が痛むで、前夜殆ど睡眠が出來なかつたと云ふことでありましたが、兎に角斯樣な腦貧血などの場合には最高度の低背臥が大效を奏する譯であります。

中等度の低背臥位即ち殆ど水平の位置に至るまでの低背臥位は卒中、即ち腦溢血などの場合に應用されます。一寸考へますと、この場合には頭を高くした方が宜しいように思はれますが、卒中の時は大抵心臟が強く働くものでありまして、それに血行が妨げられますると それに打勝たうとして益々強く働くものでありますから、頭を高く致しますと、傷のついてゐる腦の血管に血液が非常の力を以て入込むことゝなります、その爲に反つて出血を增す恐がありますので、この場合には**寧ろ少しく頭を低くする氣味合**にして置かねばならぬのであります。

その他背臥位の出來ない場合或は禁忌の場合は、背や腰の邊に癰腫の出來たとき又は火傷をしたとき或は褥瘡が出來さうになつたとき、然らざるも長い間牀に就てゐる爲に背が疲れたとき等であります。この牀疲れ或は褥瘡を豫防致しますのには、毎日冷水を以て背中の皮膚を摩擦致します、或は水に少しく酒類を加へれば尙ほ宜しい、それを軟かい海綿に浸して摩擦し、すぐその後を注意して拭乾かして置くのであります。斯樣に致しますと、皮膚の血液循環を善くし、血管の緊張力を強めて身心を爽快にする效があります。長い間持續的に背臥位を取らなければならぬ場合には、蒲團や敷布が常に清潔で皺にならやうに注意することは非常に大切な事であります。尙ほ敷蒲團は餘り軟か過ぎてもいかず、餘り

硬くてもいけません、これは自身で試めして見れば善く分かることであります。枕も餘り硬いのはいけませんが、併し頭が埋まるように軟かでもいけません、その位置に就ては病氣に依て何時も醫師が定めることであります。

これは稍や醫師の領分に深入するようでありますが、以上の事を總括めて、通常背臥位の適當な場合と不適當な場合とを擧げて見ますれば略ぼ次の如くであります。

背臥の適當なる場合

一、産婦は分娩後八日乃至十日間、

二、肺、胃、腸、子宮等の出血の場合、この時は多少頭を低く致します、

三、腦溢血のとき、このときも二、の場合と同様、

四、重症の胃腸疾患、例へば嘔吐を伴ふ胃加答兒、下痢及び赤痢、胃潰瘍、但しこれは潰瘍が胃の後壁に無い場合、それから虎列拉、胃腸の特に害される中毒等、

五、急性關節僂麻質斯、

六、腹膜炎、この時には、細い枕を入れて膝を適度に屈げるようにした方が宜しい。

七、兩側の肺炎及び肋膜炎、

八、腦膜炎、

九、失神、腦貧血、この場合には低背位を取らしむる、

十、喘息、肺氣腫、氣管に異物が止まつて吸氣を妨げる場合、又クループ等の際、この時には高背位を取らしむる、

背臥位の絶對的に禁忌の場合

一、肺の沈降鬱血及び肺水腫、

二、胸部の外傷性或は病的の皮下氣腫、

三、心臟病の多くの場合、

二　腹臥位

腹臥位、即ち俯にに寢ることは病人にも稀でありまして、完全の腹臥は健康者には殆どないことであります、稀に腹臥しても、大抵肘で支へて上體を上げて休むが常であります。完全の腹臥では、第一に呼

吸が妨げられますから、これだけても合理的の臥位と云ふことは出來ません、それで病人或は精神の昏睡してゐる人等にも禁じなければならぬが、只疝痛の場合、即ち腹の痛む時には、病人は自然に腹を枕などに壓しつけて腹臥位を取るものでありますが、實際これで痛みが緩解からである。又火傷その他の創傷等の爲に背臥位や側臥位を取ることの出來ぬ場合には、止むを得ず腹臥の位置になつてゐることがありますが、腹臥位では、腹部を全く下に壓しつければ無論呼吸を妨げるけれども、完全の腹臥でなくもと一體に鼻呼吸が苦しくなるものであります、而して頭の重みに堪へません、故に止むを得ぬ場合には頭を枕に支へ且つ首を少し横に向けて鼻呼吸を樂にする必要があります。

尚ほ腹臥位は殊に小兒には宜しくない。この位置では兎角下腹部の溫が高まり、生殖器部の刺戟となりますので、その爲に種々の惡い結果を來し易いのであります。

三　側臥位

側臥位を區別すれば左側臥、右側臥となります。或は左半側臥及び右半側臥位と申します。

イ、左側臥

右側臥は健康者に多い、即ち右を下にして臥る人が最も多いやうである。病人も止むを得ざる場合の外は大抵右下に臥るやうであります。この身體の位置は下に支へられる部分が狹いから、重心が不安定で完全に側臥位を取ることは困難である、これには多少腹部又は背部の一部分が加はるやうになります。右腹側臥位に於きましては、心臟と胃はその容積が大きい爲に幾分かその位置を移されます、僅かでありますが心臟は少し右前方に押されて、久しくこの位置を保つてゐる時には心尖の搏動が強くなります。それで心臟が肥大して大きくなるとか、心囊に液體が溜るとか云ふ場合には不快を覺ゆるものでありますから右側臥位は不適當である。實際斯樣な僅かな事から胸內苦悶を起すことがあります。心臟の

健康な人に於ては無論左樣な氣遣はありません。胃の位置も少し變りますけれども、それは極僅かで隣合の臟器も一緒に動きますから別段循環を妨げることも消化を害するやうなこともありません。併しこれも種々の病氣の場合には多少考へなければならぬ、即ち肝臟、殊に膵臟の病氣などの時には、胃が動けば從つて痛を起し或は痛を强くする恐があります。

治療の目的に特に右側臥位を取らしめる場合があります。それは左側の壓迫を避け、又は右側の適度の壓迫と濕度を增すことを利用して病氣に效力を及ばさうと努めるのであります。例へば左側の肺炎或は肋膜肺炎、右側の肋膜炎、肝臟膿瘍、肝臟の神經痛などの場合であります。右側の滲出性肋膜炎の時には、右側臥に依て確かに液體の吸收を助けますが、肋膜炎の始めには宜しくない。それから脾臟の病氣の時も右側臥を禁じなければならぬことがあります。以上の所を總括致しますると、右側臥の適當な場合は、左の如くであります。

一、健康者の睡眠の位置として、
二、左側の肺炎
三、右側の肋膜炎
四、膵石病、肝臟の膿瘍

ロ、左側臥

左側臥も重心の不安定は右側臥と同一であります。特に此場合に注意すべきことは、腕を下に敷いて、壓迫麻痺を起さぬやうにすることであります。健康者には左樣の心配もありませんが、泥醉者や人事不省の人には往々あることであります。

左側臥に於きましては、心臟はその重みの爲に胸壁に著いて動悸が强く感ぜられます、その代りに右の方の肺は自由に呼吸が出來て善く擴がる。又肝臟の如き大きな腹部の臟器は左に寄る、場合に依ては右の腎臟も動くことがある、斯う云ふ風でありますから、左側臥は、健康者の爲に最も善い合理的の臥位と云ふことは出來ません。壓迫と轉移の爲に心臟の

働が強くなりますから、神經質の人などは動悸が高くなり不快を覺ゆるものである。これは腹腔に懸つて居る所の肝臓なども、左側臥では心臓の方に壓迫を及ぼすやうになるから一層著しくなる譯であります。特に胃が充ちてゐる時、心配事のある時などは蒲團に臥いて煩はしく動悸が聴へて睡眠を妨げるものであります。斯う云ふ場合には位置を換へれば暫時效がある、併し一體に神經衰弱、ヒステリー、其他動悸の烈しい人などには左側臥は不適當である、半側背臥位、即ち左を下にしても幾分か仰臥に近い位置を取れば餘程宜しい。斯様に普通は左側臥は不利益の臥位でありますが、一定の病氣の場合には治療上必要になります。又御産の時には屢々左側臥位も應用される、是非必要な場合が起ります。併しこれは全く産科學上の事で、その産の模様に依て種種の體位を取らしめなければならぬのであります。

終に尚ほ一言すべきことは、長い間病牀に横はつてゐる病人は、屢々その蒲團を換へる必要がある、而して單に蒲團を換へたゞけで病人の氣分が非常に善くなることがあります。これは所の變るが爲か、蒲團の換氣が善くなつた爲か、或はその他の原因も加はつて居るか確かには分りませんけれども、經驗上往々斯う云ふことがあります。これは看病者の心得て置くべきことで、牀を換へてから著しく病狀の良くなることがあるものであります。昔は病人を臥かすには、これ迄健康者が敷いて居つた蒲團を用ひ、何時迄もその蒲團を換へぬのが通常であつた、これは單に病人は不淨だからと云ふ考ばかりではない、病人を動かし、牀を換へるのは病人の爲に宜しくないからと云ふのであります。併し今日は出來得るだけ毎日敷布も蒲團も交換した方が宜しいのであります。即ち毎日洗濯した敷布を用ひ、蒲團の換氣を行ふが宜しいのであります。尤も重病者の牀換へ、又は臥位に就ては、前述の理由より妄にこれを行ふてはならぬ、矢張醫師の診察及び指圖を受けてしなければならぬのであります。

妊婦の口内

矢田部藤吉

御存じの通り口内の齒牙は有機成分と土質分とより形成せられて居りまして、御婦人の御方は一般に齒牙の構造が男子に比較して有機成分に富んで居ります、故に其質も從つて男子の如く堅硬で無く、齲齒に犯され易くして是に苦む御方が澤山有るので御座ひます、のみならず御婦人には妊娠と云ふ大役を持つて居られますから、愈ゝ齒牙を薄弱ならしめ、其結果は大切な胎兒にまで波及せしむると云ふ次第になるので有ります。妊娠と此齒牙とは甚だ密接な關係を有して居るので、今まで比較的丈夫であつた齒牙が妊娠の爲め突然疼痛或は知覺過敏を覺ゆる方が澤山有る事と思ひます。

妊娠と齒牙

妊娠を致しますと俗に云ふ酸い物を好むと謂はれますが、どうして此樣なものを非常に好むかと申しますと、是は天然の力に由るので、つまり胎兒を母體内に於て發育致しますには、多大の榮養物を要しますので、是は皆母體内より受くるので有ります、胎兒を發育いたしますには多くは石灰分を要しますので、此石灰分も皆母體の血液より胎兒に輸入さるゝので、其血液はどこから石灰分を採つて來るかと申しますと、或は食物の中より、或は母體の骨質を溶解して是を皆胎兒に附與するのであります。故に母體の骨質は非常に石灰分の不足を告げるのみならず其骨質は有機成分に多く富み、軟弱になつてしまいます、然して骨質を溶解させるには一の酸類を要します、妊娠をして酸ひものを好むと申すのはつまり玆に存するのであります、齒牙も又石灰分より成つて居るので、妊娠の結果大切な齒牙の石灰分まで胎兒に吸收さるゝので有ります、のみならず、齒牙は消化器の關門に當つて居る故に、酸味物を攝取する毎に此齒牙に接著致しますから、多少外部の方からも溶解さるゝ樣な事になります。母體内に於て胎兒の

益々發育するに從ひ腹腔内の壓力も非常に亢進し、胃を上方に向つて壓迫致します故に、胃の病を起したり或は酸い液を口内に逆流する事が度々あります、此液は卽ち胃液と申しまして、中に鹽酸と云ふ強ひ酸類を含んで居ります、是が齒牙の石灰分をどんどん溶解してしまひます、如斯體の内からも又外からも雙方より齒牙を攻め立てます、故に御婦人は此際非常に注意して齒を大切になさいませんと遂に疾病を起す樣な次第になるのであります。

此際齒痛を起す原因

齒牙は前申した通り石灰分よりなつて居りますが、眞中には一つの空洞があります、是を齒髓腔と申し、中に齒髓と云ふ俗に申しまする神經が占居して居るのであつて此神經は非常に感受性が強く酸類に對しては事更劇烈に覺えます、齒牙は是等酸類の爲めに、石灰分を脱出せらるゝ故、齒牙の器械的乃至は細菌的抵抗力が薄弱となり、齲齒を起す所の最大原因となるのであります、此際最も多く發するは齒牙の知覺過敏症で、冷たい空氣や水又は熱ひ食物を攝取しましたり、又は齒牙に接しまするさ堪へ切れぬ程の痛を覺ゆるのであります、此の如きは皆齒牙石灰分の溶解せらるゝに由る、齒髓の感受性亢進に由來するのであります、また以前齲齒に犯され在りし如きは、其齲窩より愈々深く溶解腐蝕せらるゝに由つて遂に齒の疼痛を見る樣になるのであります。

齒牙の胎兒に及す關係

母體の齒牙が不健全でありますと、榮養物の攝取を完全に行ふ事が出來なくなります。事更此時代は最も多くの最も滋養物に富む食物を取らねばならぬ時に、齒牙が不健全であつたら思ふ樣な食物を取る事も出來ませんし、第一胎兒を完全に發育させる事が不可能となつて來るのであります。又母體の齒牙が不健全でありますと、從つて胎兒の齒牙もそれに從ふて脆弱い齒を以て生れて來る樣な事もあります、故大に注意せねばならぬ事と存じます。

妊婦の注意

妊娠から來る齒牙は以上の樣な關係を有して居ります、故に妊娠を知ると同時に此際大に注意を拂ひ、齲齒は少なくとも完全に相當の處置を取り置き每食後は必ず重曹水（一合の水に重炭酸ナトリウム親指の頭位量）を作り置き之を以て含嗽するのが第一の豫防法であります、重曹水は口內に生ずる一切の酸類を中和して、無害の物と致します、尙口內粘液或は食物殘渣の塊りを溶解致しまして、平常口內を淸潔に保ち、齒牙を安全に保持さるゝ事が出來るのであります。

蚊刺の豫防及治療法

醫學士　中村芳助

蚊に螫されたると其部が腫れて一種言ふべからざる不快の瘙痒の感の起ることは大抵の人の經驗して居る所である、然るに彼のマラリヤ卽ち瘧と云ふ病氣は一種の蚊に依て媒介されるものであると云ふことは近年まで分からなかつたのである、併し今日では明かにその道筋が分かつて來たので、蚊を防ぐことは單に瘙痒を恐れるが爲のみならず、マラリヤ病豫防第一の手段となつたのである。尤も日本の內地にはマラリヤ病の媒介をする所のアノフエレスと云ふ種類の蚊は餘り多くないが、臺灣に行くと盛に居る、而してそのマラリヤ病の性質も猛烈で、これが爲に死ぬる人も少なくない、それで臺灣には特にマラリヤ豫防令が出て居る位である。

蚊を根本的に退治するには、汚溝や濕地を埋めて仕舞はなければならぬ、少くとも未だ蚊とならぬ孑孑の中に撲滅して仕舞ふことが必要である、汚い溝には石油を入れゝばボウフラが湧かない。

蚊に螫されるのを防ぐには、蚊をして身に近かしめぬ方法を取る、卽ち蚊は暗黑を好み光明を厭ふものであるから、光明の中に居る人間には蚊は害惡を及ぼさない、なるべく室內を明るくすれば蚊は逃て行く。次には蚊は煙を厭ふから、昔から蚊遣と稱

して煙を立てる、青葉、鋸屑、その他種々の蚊遣線香を燻べるのである。更に蚊幮を釣りてその内に籠城すれば、如何に蚊軍が攻寄せても大丈夫である、此等の事は昔から蚊を防ぐ手段として我邦に普通に行はれてる居る所の方法である。併し常に蚊幮の内に這入つて居る譯にも行かず、又餘所に携帶する事も困難である、人の家に鋸屑や蚊遣線香を携へても行くことも出來ないから、場合に依ては一寸困ることがある、それで茲に蚊除けの藥を二三種紹介する

一、ピレトリー丁幾、これは除蟲粉の抽出物で、褐色をしてゐる丁幾である、併し身體に塗つても殆んど色は著かぬ、又久しく用ゐても別に刺戟することもなく、四時間乃至五時間は確かに蚊螫を豫防する效がある。人間の鼻には殆ど臭氣が分からぬけれども、恐らく昆蟲の鋭敏なる器官には一種不快の臭氣がするものであらうと思はれる。

二、ホフマンと云ふ人はツアヘリンの酒精エキスを賞用する、これを製するには、適宜の大さの罎を採つて、その底一センチメートル程の高さにツアヘリンを注ぎ、それから七〇プロセントの酒精を罎一杯に充たし、一乃至二時間の中に數回振盪しその後これを濾過するのである、斯くして得た所の液は稍や褐色を呈してゐる、これを皮膚に塗布すれば僅かに黄色に著色するけれども殆ど分からぬ位である。その臭も特別に注意しなければ氣がつかぬ。たゞ長い間用ふるときは、小兒には往々皮膚の刺戟が起ることがある、併しこれは一日か二日で自然に治癒するものである。

以上は豫防の方であるが、若し蚊に螫されたならば何うするか、その治療法も序に傳授致して置く。

先づ螫されたばかりの時は、普通何處にでもある家庭藥を用ゐる、即ち石鹸を塗れば宜しい、それからアムモニア水、加里滷汁等を塗つても效がある、併し加里滷汁は皮膚を刺戟することが烈しいから餘り用ひぬ方が宜しい。此等の藥を塗布すれば、蚊に由て注射された所の毒が中和されて働かなくなるのであ

る。それで蚊に螫されたならば直ぐに塗布すれば宜しいが、大抵餘り遲くなる、殊に夜間睡眠中に螫される場合にはさうである、さうするとその螫された部分が赤く腫れる、併し「蚊に螫された位の」と輕い事の形容詞にさへ用ひられる程のことであるからその治療法も可成簡單で、誰にでも出來る方法でなければならぬ。又搔痒を止め毒を消す作用があるけれども、イヒチオール、チグノール、テールなどはその色と臭が惡いので顔などに塗布するには不適當である、これには何うしても色の著かない、丁幾劑でなければいけない。それにはメントール即ち薄荷精及びチモールが宜しい、三乃至五プロセント位の丁幾にして用ひるのである。卽ち蚊に螫された處をこの丁幾を浸した綿で以て敲く、さうすると直ぐ痒みが止まる、場合に依ては一二時の後にもう一度行ふ。病人はメントールの方が善いと云ふ人もあり、チモールの方が善いと云ふ人もある、何れでも宜しい。

このメントールとチモールは、丁幾の外にコロヂウムに溶かしても用ひる。これは特に衣服で擦れる部分、卽ち手首の邊を螫された時に適當である、つまり衣服で擦れると搔痒が何時までも續いて新に搔くやうになるから、それを防ぐに宜しいのである。メントールコロヂウムは、一つはメントールの效能ともう一つはコロヂウムの壓迫作用に依つて蚊の螫した跡の浮腫を押へるから從つて搔痒沈靜の效がある時としては單にコロヂウム一滴だけで十分效のあることがある。併し普通は餘りコロヂウムを使はぬ方が宜しい、コロヂウムは乾燥すると、その下の皮膚が荒れる傾があるものである。それでもコロヂウムを用ひて見やうと思へば次の如き處方に從ふて製るが宜い。

メントール	〇・二
ヴェ子チア、テレゼンチナ	一・〇
リチ子油	一・〇
コロジウム	一八・〇

此等よりも宜しいのはナフタランである、その作用が久しく續く、皮膚に擦込めば僅かに黄色になるが能く浸込んで、少しも粘らない、その效果はかなり迅速で、强力で而かも確實である、この藥は直接に炎症を防ぐ效がある。而して前のメントールやチモールよりも長く作用が續くと云ふことである。

育兒

兒童の身體

ドクトル　富士川游

人間の身體といふものは餘りに有觸れたもので、皆樣も朝から晩まで澤山に御覧になつて居りますが、しかし學問の眼から、人間の身體を精しく見ることは、これまで案外に放擲されて居りましたので、精しく調べて見ると、まだ分つて居らぬ點が隨分多いのであります。例へば多くの人は、小兒の身體は大人の身體を小さくしたもの、大人の身體は小兒の身體を引伸せば出來るやうに考へて居りますけれども身體各部の寸法は全く違つたものでありまして、小兒の身體をその割合で大きくしたならば、餘程奇妙な大人が出來る、決して普通の大人の身體にはなりません、反對に大人の身體の寸法をその割で縮めても小兒の身體には成らないのであります。生れたての小兒では、頭と胴が目立つほど大きく、四肢、殊に下肢は小さい、即ち頭だけが全身の長さの四分の一に當る、軀幹の長さは三分の一、腕や脚は軀幹よりも短かいのであります。然るに大人では、頭は身長の七分の一乃至八分の一、腕の長さは手の尖までを計れば、軀幹よりも約百分の三十五ほど長く、脚は身長よりも百分の三十四ほど長い、それで大人では小兒よりも割合に頭が小さく、四肢が割合に長い若し前述の小兒の寸法を引伸して大人の身體の大さ

にしたならば、福助の怪物が出來ます。故に身體が小さいから子供、身體が大きいから大人と云ふ譯には參りません、身體各部の釣合が全く異つて居る、而してその身體各部の發育も同じ度合に大きくなつて行くものではない。

初生兒から發育して大人になるまでの間に、身體の長さがどんな割合に發育するかといふと略ば次の通りであります。

頭部	二倍
軀幹	三倍
腕	四倍
脚	五倍
全身	三倍と五分の三

それで、小兒の身體の發育する間には、その時期相當の解剖上並びに生理上の特徴の現はれて來る、それに依て發育期を左の數段に區別することが出來ます。

第一兒童期

哺乳期	生後一歲まで	（無齒期）
第一充實期	二歲より三歲まで	乳齒期
第一伸長期	五歲より七歲まで	乳齒期

第二兒童期

第二充實期	八歲より十歲まで
第二伸長期	十一歲より十五歲まで
成熟期	十五歲より二十歲まで

哺乳期

小供が生れてから初めの一年の間を哺乳期又は無齒期といふのであります。十分に發育した初生兒は平均三千五百グラムの體重を有つて居りますが、生後二十四週になりますと、その二倍になり、一年の終には出產時の體重の二・七五倍だけ重くなるのであります。小兒の身體は、生後第一個月の間は非常の勢で發育しまして、この月には初の體重の凡そ七分一ほど增加致します、それから發育が次第に徐々となつて第十個月には、僅かに三十三分一の增加となるのであります。

身長は何う云ふ風に延るかと申すと、出生時の小兒の身長は五十センチメートルでありますが、一個年の後には七十五センチメートルとなる、即ち生れた時の身長の半分だけは一年間に延びる譯であります、この哺乳期に於ける小兒の身體を全體から觀察致しますと、種々の特徴がありまして、先づ胸は左程大きくないが、腹が大きく膨れて居ります、その皮膚は鬆疎で、柔軟で、その下に厚い脂肪層がありますから、四肢は圓く、その下にある所の筋肉は殆どわからぬ位であります。それで前膊から手に移り行く部分、即ち手首の處には皮膚に深い溝が出來て居る足首の處にも、これ程著しくはないが、矢張同じやうな溝が現はれて居ります、倘ほ哺乳兒では、上腿の上半分の處に、横に斜に走つて居るところの溝がありますけれども、これは後になると消えて仕舞ふものであります。

又哺乳兒の手の指や、足の趾は、多少蛙や守宮の趾のやうに廣がつて伸びて居りまして、種々の運動を致します、殊に大人と異り、足の趾をよく動かすものであります、これは刺戟に應ずることが著しいのである。

次に初生兒の頭には種々大人と異つた點がありますが、先づ頭が非常に大きい、身長の凡そ四分の一もあります、而してその中でも顏は甚だ小さく、腦頭蓋、即ち腦髓の入つて居る方の頭蓋が非常に大きいのであります。

（以下次號）

兒童の救急手當法（承前）

醫學士　藤井秀旭

凍瘡

身體の內血の循環の悪い所例へば耳、鼻尖、指趾等は凍瘡に罹り易い。凍瘡といふのは第一度の凍傷を指すのであります。そして其病症の程度に三段があります。これを便宜上

第一度　輕症

第二度　中等
第三度　重症

に分けて說明いたしますと、第一は皮膚の色が靑みかゝつた赤い色になり、腫れて來て熱くなり、其上に瘙痒が甚しく、又痛みが生じて來ます。

第二度は、鼻なり耳なりに水腫が出來、其の內容色は血の色になるのが多いのであります。

第三度は其の部分の感覺がなくなつて、血行が絕えてしまうのであります。血行が止つて身體の一部分の死ぬことを「壞死」と云つて居ります。

其手當

凍傷の手當も、前に述べた凍瘡と同じように、急に溫めると云ふことは可けないので、冷いところからだん〳〵と溫くするようにしなければなりません。同樣に、凍瘡に罹つた部分を火にあぶるといふことはよくない事であります。手などの部分なれば水の中へ入れ、耳や鼻のような部分なれば冷罨法を施すのであります。そして今度は手で摩擦をするのですると氣持のよい溫みが出て參りますから、それまで摩擦します、そして次に軟膏を塗るのです。軟膏にはいろ〳〵の種類がありますけれども、岡村博士の推賞する軟膏の種類を御紹介致しますと。

硼酸軟膏
イヒチオール軟膏

等で又單に有り合せの

ワゼリン
ラノリン
椿油

等を塗つて繃帶をするのであります。

其豫防

凍瘡を豫防するには、先づ身體を淸潔にして、末梢部の血行をよくすることであります。火にあたる場合には、よく手の濕りけを拭き取つてから火に近づくことを忘れてはならぬのであります。耳や鼻の冷めたくなつたときには、だん〳〵に溫めることは前にも申した通りですが、疲勞したり酷く空腹を感じ

たり、睡眠の足らぬ等の場合に嚴寒に觸れますと、よく凍冱假死に陷るようなことがありますから、さういふ事のないように注意しなければなりません。

喝　病　（中暑病）

醫學上ではこれを（一）日射病、（二）熱射病の二種類に分けて居ります。此の區別は原因によつて生じたもので、即ち日射病は炎暑に照りつけられて起るもので、熱射病は熱の爲めに身體に變化が起るのであります。人間の體は、仕事をしたり、物を食べたりしますと、身體に熱が起つて來ます其の起つた熱を外部に發散せしめてしまう作用が働いて居て其の調節の宜しきを得て居るのであります。然るに他の障碍の爲めに此の調節が出來なくなつて來ますと、即ち熱の發散が止つて、熱射病に罹るのであります。又、日射病は夏の炎天に體操をして居るような場合に多く生じ、熱射病は火夫のような人によく起るものであります。然しこれは原因の區別でありまして日射病と熱射病とは其の徵候に判然した區別が立たないので此の二つを合して喝病といふのであります

此の病症に罹つた者は、心臟が弱くなつて動悸がし、呼吸が苦しくなり、そして胸内苦悶なつて來ます。始め淋漓と出た汗の出が止まつて、顏が眞赤と云ふよりも、靑みがゝつた赤色になつて、痙攣を起すか、又は卒倒いたします。そして昏睡の狀態に陷つて、しまうので昏睡の狀態が續けば續く程、其の恢復が困難なのであります。

其手當

此の場合第一に爲すべきことは着物をゆるめ空氣の流通よき場所へ出して頭を高くして寢させるのであります。若し戶外なれば木陰へ入れ室內なれば團扇であほいで成るべく風をあてる、頭は氷で冷すか、若し氷を得られなければ冷水罨法を施するのであります。そして足の裏を擦つたり、マッサージをしたりして、多少呼吸が强くなつて來た處で、人工呼吸を施し、氣がついた後に、水かお茶の濃いのを吞ますのであります。若し氣のつかない以前に水を吞ま

しますと、水が氣道の方へ入りますから、そんな事のないように、氣がついてから呑ますることを忘れてはなりません。又水を與へるにも、一度に多量の水を呑ませては可けないので、少しづゝ數度に呑ませなければなりません。若し灌注器がありましたならば、三〇〇瓦（一合五勺）程の水を灌腸するのが一番いゝので、この水の分量を誤らなければ灌腸は決して害にはならぬものですから、行ふ方がよいのであります又、一端氣がついた患者は、動もすれば眠らう眠らうとするものでありますから、努めて眠らせないように、アンモニヤを嗅がせ若しくは肺腸部に芥子泥を塗つて失神に陷るのを防ぐのが大切であります。

其豫防

總ての場合に病氣に罹つてから手當をすること許りが、醫者の仕事ではないので、さういふ病氣に罹らないように豫防するが、寧ろ大切なる務めなのであります。

喝病は日のかん〳〵照つて居るよりも、曇り勝ちな蒸し暑ひ、息苦しいと云ふような日に却つて起るものであります。兵隊や火夫等が職務に起る喝病は極めて重症でありますけれども、子供の場合は比較的輕症なものであります。其の豫防としては、さういふ蒸し暑い日には成るべく外へ出さないようにすることは勿論、夜は早く寢かせて十分の睡眠をとらしめること、食事を規則正しくすること、飲料水を成るべく呑ましめること、著物を固く締めないようにする等が其の主なる豫防法であります。

電撃

これは電線が斷れて落ちたような場合に、これに觸れた爲めに生ずることもあるし、雷の落ちた爲めにも起るものであります。多く其の場で死ぬのが普通でありますが、幸にも助つた場合には重症なる腦震盪を起し、手足が冷くなつて顏の色が眞蒼になります。手當は困難でありますが、然し數日を經た後になつて助かることもある位ですから、出來るだけ

の手當はしなければなりません。

其手當

風通しのよい所へ移し、著物をゆるめ、顔に冷水を灌注し、頭を低くし、身體を摩擦したり、硇砂精を嗅入させたりなどします。又食鹽の注腸を行ひます。即ち、水一〇〇〇（五合）に對して、食鹽九・〇瓦（二匁）を混じたもので注腸をするのであります。この分量の食鹽を〇・九％食鹽水とも生理的食鹽水とも云つて居りますが、この分量の食鹽水は人間の血と同じい働きをするものであります。これで氣がつくと、今度はホフマン氏液（アルコールとエーテルとを混じたもの）を與へ、人工呼吸を行ひ、又次に「やけど」の章で説明すると同樣な手當を施すのであります。

其豫防

此の豫防は云ふまでもなく、成るべく暴風の時に戸外に行かないようにせなければなりません。若し途中で暴風雨にあつた時には、一本の木や、電柱の側へ寄らないようにすることと、落雷にあつた時には、直ぐ其儘に其の處へ寢てしまうのが一番よいのであります。室内なれば、ガラスが電氣を防ぐものでありますから硝子窓を總て鎖めてしまうことであります、と云つて餘り密閉し過ぎると、落雷したときに反つてよくないのですから、少し開けて置くようにした方がよろしいのであります。

（以下次號）

家庭衞生

病人の食餌攝取に就て

病人の養生法の中でも、榮養と云ふことが最も大切で且つ最も六ケしい事である。食物の分量や性質は食餌攝生法の原則に從つて醫師が定めるけれども、看護する人はこれを實行せしめなければならぬのである。所がこれは頗る六ケしい。

醫師は、一日これだけを與へよと命ずる、然るに經驗上食事に就ては、何うも藥のやうには行かぬものである。これには處方だけでは駄目である、看護婦などが傍から餘程うまく勸めなければならぬ。病人と云ふものは大抵食慾が缺乏して居るものであるから、兎角醫師の處方通りに從ふことは出來ぬものである。構はずに置けば、食餌の攝取は至て少なくなる。單に胃腸病患者のみならず、一般に牀に就て居るものは食慾が減ずる。その他周圍に於ける僅かの臭氣や、或は目につくものに由ても、容易に嘔氣を催して食べられないと云ふやうなことがある。

食慾の缺乏してゐる者に與へる食物は、液性のもの或は粥狀のものが最も適當である。口の乾く重病人例へば熱のあるものとか、又は咽頭の惡いものなどでは、殊に液性のものが宜しい、胃病其他の病氣でも往々舌や咽頭が粘液のやうなもので被はるゝことが多い、斯う云ふ時には、咀嚼するのが煩はしく、十分唾液の混せぬ食物を嚥込むことは困難である、斯樣なことから直ぐ、もう澤山だと云ふやうになり易い。それで此の如き場合には、是非固形食物を廢して、粥狀のものにしなければならぬ、即ち濃いスープとか種々の乳粥、或は肉をつぶして汁にしたものとか又は菓物の汁或は林檎を煮て濾漉にして砂糖を混せたものなどを與へなければならぬ。殊に菓物を軟にした料理は食慾を進めるものである。即ち林檎のピウレを與へて、それから炙肉などを與へると良く食べられることがある。それから食事に際に少しく葡萄酒を與へても、大抵の病人は食慾が進むのである。これは種々の點から注意を要することであるけれども、病人は牛肉でも鳥肉でも、肉類は凡て煮たものよりも、生肉の方が食べ好いものである一二滴酢を落すとか、それに一片毎に少し食鹽をつければ、案外良く食べられるものである、併しこれは止むを得ざる場合に止めなければならぬ。

食物の一塊を十分咀嚼するには、何の位の時間を要するものであらうか、即ち嚥込んで胃にやり

宜しいと思ふ程に咀嚼するのには何の位の時間かゝるかと云ふに、これは人の物を食べる所を見て、更に自分に試驗して見れば直ぐ分かることであるが、先づ煮た魚肉、つぶした炙肉などは凡そ十五秒で細かく嚙み砕ける、粉製の食物は十秒乃至十五秒かゝる、パンは大約二十秒位かゝる、ハムなどもその位である。普通のビフステーキは二十五秒位或はもう少しかゝるやうである。

食事の時に飲料を用ひて宜しいか、悪いかと云ふことに就ては、宜しいと云ふ人も、悪いと云ふ人もあるが、エーワルド先生などは飲むでも良いと云ふ方の答である。實際健康な人は何うか知らぬが病人には禁ずる譯にはいかぬ、なるべく多量に食物を攝取せしめやうとする時には、何うも飲料は必要である而して少しく注意を與へれば、經驗上害を認めない。全く食慾の缺乏してゐる病人には、往々冷やした料理でなければ仕方がないことがある、その時には肉ジエリー、アイスクリーム、冷たいプッチングなどが西洋の獻立には上る、つまりなるべく滋養分に富んだものを冷たくして與へるのである。

次に一體咀嚼、即ち物を嚙むと云ふことは、是非緊要なことか何うか、病人などには寧ろ消息子で以て直ぐ胃の内に適當な飲食物を注込むでやつた方が良いでなからうかと云ふ問題も起るが、經驗上、胃の内は榮養物を注込むことを持續しては有害である。胃は遂に加答兒を起し、病人は痩せて來る。咀嚼する時には、既に咀嚼してゐる間に胃の分泌腺から盛にペプシンや鹽酸を含むで居る所の消化液が分泌されるのである、單に美味いものを見たゞけでも、口から唾液が湧くのみならず、胃の分泌も同時に起るのである。小兒も瓶から容易に乳を飲ましめるよりも、孔の小さい乳嘴から飲ます方が消化が良いと云ふことである。即ち此の場合では乳を吸ふ運動が成人の咀嚼と同じ價値のあることになる譯である。それで食物を十分咀嚼することは、食物を軟かにし、唾液を混ずるのみならず、反射的に胃の消化力を助

ける譯である。
右の理由に依つて、病人には、なるべく惡食を戒めなければならぬ。粥食は咀嚼する必要もないけれども、矢張なるべく口の內で唾液の混じ得るやうにしなければならぬ、液性の食物に於ても同樣である、それには何うすれば良いかと云ふに、例へば牛乳のやうなものであれば、少しづゝ間を置いて、咖啡匙で與へれば宜しい、或は燒いたパンを少しづゝ同時に與へれば宜しい、固いパンを嚙まなければならぬと云ふことになれば、自然急に嚥込む譯には行かぬから、唾液も混ずればその間に胃の消化も助けることになる。醫師の戒や命令よりもこの點に於ては、パンの皮を咀嚼せしめた方が效果がある。
それで病人の食餌法に就ては、單に何を食べるかと云ふことのみならず、何の位の時間に、何の位の時間で食べさするかと云ふことは必要のことで、看護する人は往々この點に就て病人を敎育しなければならぬ。これを能くするには、迚も醫師の處方や命令だけでは出來ない、是非始終病人の傍に居る人が注意しなければならぬ事である。

シヤクリ止めの法

吃逆は隨分煩はしいものである、時によると一時間も二時間も續く、又時としては二三時を隔てゝ屢次起り一日、二日も續くことがある、斯樣に頑固になると苦しいもので、多少害が無いとは云へぬ、殊に他に病氣のあるときには確かに種々の害が起る。
吃逆はどう云ふ具合にして起るかと云ふに、胸腔と腹腔との境を成して居る所の横隔膜と云ふ一つの膜がある。これは一度傘を展げたやうな形になつて張られて居るのであつて、息を吸へば肺臟が膨れてこれを下の方に壓し下げ、息を吐いて肺臟が縮まれば腹の內の臟腑と共に再び上の方に擧がる、通常は斯樣な運動を規則正しく徐々に營むで居るのである。然るに種々の神經の關係から、丁度暴風や龍卷のと

きに傘をさして居るやうな風で、急劇にこの橫隔膜が縮む、さうすると思はず空氣が吹込まれるので、彼の樣に人を笑はすやうな奇妙な音を發するのである、即吃逆である。

脊髓の病氣、或は心臟又は腹膜の病氣、其他尿毒症であるとか腦の病氣であるとか、重い病氣のときに起ることもあるけれども、普通は原因不明にして健康の人に發することが多い。

これを止めるには如何にすれば宜しいかと云ふに、先づ誰でも知つて居るのは、不意にその人の背中をどやすことである、もと〳〵神經的に起つたものであるから、驚かして反射的に鎭めるのは當を得て居る。又一種のオマジナヒとして茶椀に水を入れて向ふの緣から水を飮む、或は茶椀の上に箸を二本渡して、その間から飮むとか、種々のことをするが、これは一つには頸の筋肉を少し無理に屈せしめて間接に橫隔膜に作用を及ぼさしめるのと、一つには水を嚥下する運動と、食道や胃の感覺と、腸の反射運動などの關係から吃逆を止める效能があるものと思はれる。故に斯樣にオマヂナイ的にせずとも、コップに一杯の冷水をグイと飮むでも能くシャクリが止まることがある。殊に呼吸を制して飮めば效がある又單に頸を強く一方に回はしても止まる、更に捕手が賊を捕へるときのやうに、一方の手を以てシャクリする人の同名の手、例へば右手を以て右手を側から捕へ、左手の拇指と示指とをハスにして頸の側方に當て、右手を引張ると同時に、吃逆する人の頸を少しく前に廻す氣味合に左手を押して、五六分間持續すれば能くシャクリが止まる。或は兩脚を股關節と膝關節の處にて強く曲げて、腹に當て、強く壓すときはシャクリは止まる。これも十分間位持續するのである。醫師の方では場合に依ては橫隔膜神經に電氣を掛けることもあり、種々の藥劑を用うることもある、それは大抵痲醉劑或は鎭痙劑と稱する類のものであるが、俗間には柿の蔕を煎じて飮むとシャクリが止まると云ふて居るが、これは往々醫

師にも好で用うる人が今日もある、實際多少效があるやうに思はれる。如何にしても頑固で止まらぬことがあるが、これだけの方法を片端から試み盡す間には大概止まる筈である。

看病上に於ける蚊幮の應用

又々蚊幮が引出される時節となつたから、看病上に於ける蚊幮の應用、或は蚊幮の效用を述べて見やう。

蚊幮は病人に依ては、或は鬱陶しいと云ふものもあらうが、一般には、精神を鎮靜安穩ならしむる效があるやうに思はれる。蚊幮をつりてあれば、外から丸見えにならぬから、窓を悉く開けてもいゝ、直接風に觸れても差支のない病人の爲には至極宜しいことである、病人が眠るときには看護者が注意して身體に毛布なり蒲團なり被ふてやればいゝ。單に涼を取る爲にも、新しい空氣を十分に入れる爲にも、この點から蚊幮は重寶である。

蚊幮は本來の目的に依て、蚊を防ぎ得ることは勿論であるが、看病上に於てこれよりて一層有益なことは蠅を防ぎ得ることである。殊に傳染病の患者が發生したときには、早速病人を蚊幮の內に入れるが可い、さうすれば蚊や蠅が病人に近づかないから、病毒を他の人に移す虞がない、只この際特に注意すべきは便器の出入れである、便器が蚊幮に觸れるやうなことがあつては、寧ろ危險を增す、勿論便器の出入れは病人の足の方からし、食器の出入れは枕下の方からするであらうが、餘程氣をつけなければ病毒が蚊幮に著く憂がある。

次に冰嚢を用うる場合には、蚊幮は便利である、頭の上でも腹の上でも紐を以て隨意に蚊幮から冰嚢を吊下して、適度にその局部を冷すことが出來る。

これは少し大袈裟な考であるが、昔から行はれる通り、蚊幮は雷除けの效能がある、麻は電氣の不導體であるから、屋根や天井を打貫いて弱められた電氣

は、麻の網で以て防がれる、と云ふのは稍や大袈裟な話であるが、實際幾分かその效が無いとは云へぬ少なくとも病人の氣休めになる、氣休めと云ふことも、時に取つて看病上非常に大切な事柄である。

雜報



○小公園の新設

東京市にては歐米の都市に倣ひ、小兒の遊戯場、非常の際の避難所にも充つる目的にて市內の空地を利用し、所々に小規模の公園を設置せんとの計畫あることは既報の如くなるが、その內、數寄屋橋公園、蠣殼公園、虎の門公園及び今戸公園は直に設置することに確定し、その工事を急ぎつゝあり、尚ほ本郷四丁目より大學前通、淺草廣小路、四谷大通、京橋八丁堀通等には本年中に樹木三千株を植付くる由なり。

○清涼飲料水の細菌

清涼飲料水、即ちサイダ、ラムネ等のリモナーデ類の中には酸類及びエスターを含有する爲に細菌類は繁殖せぬと云へることありしも、これ全く誤にして、時としては一立方センチメートル中に數十萬の菌芽を含むことあり、小毛利伊藤の兩氏は横濱衞生試驗所に於て大正元年十一月より同二年三月中旬に亙り、八十種のサイダ、十九種のラムネ、二十二種の天然及人工鑛泉に就き細菌學的調査を行へる成績に據て見れば、シャンピンサイダー及ラムネ類の中、一立方センチメートルより總菌數、十八萬八千、細菌一萬七千七百九十三を發育せしめたるものあり、天然鑛泉中にも細菌數十八萬七百九十八を算せるものあり、今これを全國の上水中の細菌數に比較するに、上水はその最も不良の成績にても細菌數六百を超ゆること稀なり、殊に右の清涼飲料は黴生物の發育に不適當なる冬季の實驗成績なるにも拘らず、以上の如くなれば、純潔なる飲料はこれを上

水に求むるにしかすといふべきなり、尤も知名の清涼飲料中には比較的細菌少なきが如し。

○下谷保育所

夫婦共稼の下層勞働者が、幼兒を顧慮するが爲に十分の働をなし能はざるを救はんとの目的にて、鈴木御氏夫妻は、下谷萬年町に幼兒晝間預り所を設け、下谷保育所と稱し、四月十五日より開始せり、その規則は左の如し。

下谷保育所規則

名稱　下谷保育所ト稱ス

目的　下谷淺草兩區内ニ居住シ勞働ヲ以テ生活スル者幼兒アリテ就業シ得ザルトキ其幼兒ヲ終日保育シ就業セシムルヲ以テ目的トス保育兒ノ父母兄姉ニシテ失業セル者ニハ職業ノ紹介ヲモナスベシ

年齡　入所シ得ル幼兒ハ滿二歲以上六歲以下ノ者トス追テ幼兒ノ保育ヲモナスベシ

時間　毎日午前六時半ヨリ午後五時半迄保育スルモノトス

保育料　一日金參錢ノ保育料ヲ徵ス

食事　晝食各自持參ノ事　間食物ハ一日二回本所ニテ給與ス

學科　幼兒ノ水能ニ從テ敎育シ別ニ規則立チタルコトヲナサズ

維持　天下ノ同情者ノ寄附金ニヨリ維持ス

寄附金　寄附金ハ臨時寄附金基本寄附金贊助寄附金ノ三種トス

贊助金、贊助寄附金ハ毎月貳拾錢以上又ハ毎月五拾錢以上又ハ毎箇月間以上ヲ五ケ年間約束寄附スルモノトス

下谷區萬年町一丁目二十七番地　下谷保育所

因に同保育所開始後二十日間の成績を聞くに、申込數二十六件、その内收容數十八名にして、親の職業は屑屋、車力、日雇等にて收入は一日四十五錢位、その家族は平均四人餘に當り、家賃は日掛にて七錢乃至十錢なりと云ふ。

○九州大學産婆養成科

九州帝國大學醫科大學にてはその附屬事業として産婆養成科を設け去る四月より授業を開始したるが、今回の入學者は十一名にして、その内二名は小學校正敎員の資格を有し、その他は全部高等女學校の卒業生なりと云ふ。

○回歸熱の流行

去る四月本所、深川に回歸熱患者を發生し、漸次下谷、淺草、芝、赤阪、小石川、牛込等の各區に蔓延し、横濱にも及びて猛威を逞うせんとする勢なりし

も、その筋の豫防注意に依り漸く消滅せんとするは幸なり、併し未だ全く消滅に歸したるにあらざれば、油斷すべきにあらず、卽ち虱、南京蟲等に螫されざるやうに注意し、尙ほ衣服、住居、身體を淸潔にし右の昆蟲類發生したる時は速に撲滅すべし。

○理髮業者の衞生講話

東京市の理髮業者は、漸く組合を設けて取締規則を勵行せんとし、警視廳第三部に向ひ、消毒其他一般の注意に就て講話あり度旨請求せるに依り、警察醫員出張して、先年同業の視察條項に基き講話しつつありと云ふ、その要目は左の如し。

一、店舖內を消毒にする事
一、備付一般の器具を淸潔にする事
一、理髮用器具の淸潔に努むる事
一、就業者の被服を淸潔にする事
一、洗滌場を淸潔にする事
一、唾壺に注意する事
一、消毒器、消毒藥の設備及其實行に努むる事
一、傳染性皮膚病者に接したる時の處置に注意する事

其他可及的鼻毛取毛等は剃らざる樣にする事、耳掃除に用ゆる棉を淸潔にし共用せざる事、尙ほタオールの淸潔、及び可及的呼吸器(覆面)を用ふる事等に就き、一々その理由及び方法を細大漏らさず平易に講話せらるゝ由なり。

○天然痘患者現はる

先月下旬神田にて支那人の天然痘に罹れるものありしが、去る十四日に至り本鄕區駒込動坂に一名の眞性天然痘患者現はれ、駒込病院に入院せしも間もなく死亡せしより、同區衞生係員出張して附近の住居民千百二十九人に種痘を施し、尙ほ十七日には天然寺內に於て神明町、動坂町、林町吉祥寺町等の居住者全部に種痘することゝなせる由なるが、此他にも一名傳染し、又神田區三崎町にも一名天然痘患者を發生したる由、時節柄大に警戒を要することなり。

○櫻楓會の託兒所經營

日本女子大學出身者の團體たる櫻楓會にては豫て社會的事業を經營すべく畫策なりしが、今回其の第一着手として小石川百軒長屋及び氷川田圃に於ける細

民の幼兒に對する模範的託兒所を設置する事に決し同區久堅町八十九番地に一戸を借受け來る左記規定の下に幼兒を收容すべく、尙ほ來年度よりは更に市內に數個所の託兒所を設置する計畫あり、これが任に當るは同大學敎育部出身の丸山千代子女史にして日頃特殊敎育に一身を捧げんとの志望あり、櫻楓會より交涉の結果今回鄉里より特に上京せしなりと

一、兒童を預る時間は每日夏は朝六時冬は朝七時より夕方は夏冬共六時まで

一、每月一日十五日は休、盆と正月にも休む事ある可し

一、兒童が預るに宜しくないと見た時は斷る事もあるべし

一、中食の辨當の外に每日一錢五厘づゝを申受ける、一錢は兒童にやる「おやつ」で、五厘は兒童の貯金とする

○下關幼稚園醫會

下關市立第一幼稚園に於て幼稚園醫會を開きたるがその決議事項は左の如し。

一、每年五回(身體檢査施行後)集會し幼兒衞生上の協議をなすこと

二、幼兒の身體檢査は各園とも每年五回(四月、七月、九月、十二月、三月)施行すること

三、來四月よりの入園希望者に對しては三月下旬身體檢査を執行し傳染性疾患を有する兒童は治癒するまで入園を拒絕すること及幼稚園の保育が身體の發育上適當と認むべき兒童は亦入園拒絕すること

四、現在園兒に對して、下脚の長さを測定し之に適當なる腰掛を供給すること

五、體重の測定は裸體計量によるべきを以て檢査室は煖爐を設けて保温上遺漏なからしむること

○岡山縣衞生展覽會

同縣に於ては一般衞生思想の普及發達を圖る爲め、夙に各郡市長及び各警察(分)署長に指示し、衞生講話會又は衞生幻燈會等を開催せしめ該思想の啓發に

努むる所あり、昨四十五年四月に至り始めて岡山市(醫師、齒科醫師、藥劑師、藥業者、私立岡山縣衞生會主催)に於て衞生展覽會を開催せしに其效果實に多大なるものあり、依て引續き同年中七ヶ所に於て之を開催せり會期は前後を通じ三十一日間、參觀者無慮十二萬餘人に達せり、本年は縣費より約六百圓の支出を要求し再び開催の計畫を立て既に三月以來四ヶ所を終了せり。會期十四日間にして參觀人員實に五萬五千餘人に及べり、尙は引續き開催中にして出品は多くは警察部衞生課に於て材料を調製或は蒐集したるものに屬し、又之が說明の如き主として同衞生課技術員(醫師、衞生主任巡査、看護婦之を補助す)之に當り、最も簡易適切を旨とせり、就中出品物に關し取締規程の存するものは諄々其の趣旨を說明し、參觀者をして該規程の精神を了解せしむるに努めたり、其の效果は一般の衞生思想啓發に資せしこと蓋し多大なるを信ずる旨、大山同縣知事より過般內務省衞生局に報告ありたりと。

○篤志看護婦人會總會

同總會は去月二十八日午後二時より築地水交社に開催、總裁閑院宮妃智惠子殿下を始め名譽會員東伏見宮、伏見若宮兩妃殿下にも御臺臨あり、會員の出席者五百餘名、會長鍋島侯爵夫人開會を宣し、嘗て同會に御下賜の令旨を捧讀し、總裁宮妃殿下より御諭旨を給ひ、會長これに奉答し、次に御前にて須知中佐未亡人他十六名に對し修業證書を授與し、幹事の報告、社長の演說ありて式を閉ぢ、記念撮影をなし、御退場後茶菓の饗あり各自退散したり。

○救世軍の結核病院計畫

日本救世軍にては從來の施療病院經營に一歩を進めて今回更に府下中野に一の結核病院を設立する事とし、已に三千九百餘坪の敷地買收並に登記をも了したり、此の計畫は去る明治四十一年前大將ウイリヤム、ブース氏來朝の際、日本に於て三萬圓の寄附を得、萬國本營より三萬圓を補助して結核病院を設立すべしと云へる發議に基き、此程萬國本營より送金

て其の效果如何によりて官制による責任者を設置さるべしといふ。

○大學外來診察日變更

大學附屬醫院外來診察所にては本月十一日より九月十日迄左記各科に限り診察日を變更したり、但し時間は從前の通り。

一、眼科　火、木、土
一、耳鼻咽喉科　同前
一、皮膚科　月、水、金
一、小兒科　同前

廣告

私立大日本婦人衛生會にては、本月五日午後一時より、共立女子職業學校三階の大講堂に於て例會を開きたり、當日の講師たる胃腸病院の南醫學士は、胃腸の養生といふ演題の下に、消化器全般の生理を概說したる後、口腔齒牙の養生法より胃、殊に腸內の消化作用及びその養生法につき努めて通俗平易に說明せられ、最後に榮養法の上より調理に對する希望を述べ聽衆を裨益されたること多大なりき。

因に當日出席の本會役員は左の如くなりき。

鍋島會長　澁尾副會長
高木鍊子　鳩山春子　石川貞子
守屋千代子　宮下繁子　田村きよ子
小川きん子　岡山こく子　三浦敎子
丹波貞子　古市幸子　松平すま子
山本多穗子　岩下ゆか子　鶴原誠子

○新潟支會入會者

○中村しげ子紹介

● 特別會員　大成すま子

○轉居

●大阪市西區立賣堀北通五丁目へ　植田しげ子
●日本橋區蠣崎町四ノ一へ　塚原梅子
●赤坂區高樹町十二ノ十六へ　三島千代子
●小石川區指ケ谷町一四七へ　麻生雅子
●長野縣伊那郡飯田町梅南小路へ　勅使河原君惠子
●神戸市石井村六ノ五へ　竹長孝子
●兵庫縣武庫郡鳴尾村字西畑二ノ二へ　神谷ゆき子
●山口縣山口町後河原水ノ上へ　國藤ちゑ子
●福岡縣三井郡西久留米花畑九五一へ　時田久理子

前髮心の覇王　美人印ヘーヤロール

弊店製造の特許ヘーヤロールは原料を遠く濠洲に仰ぎ新歸朝者美容術界の明星たる岡崎エン子女史が母國への土產として持ち來りしものに大改良を加へ衛生と經濟とを兼備したる逸品なる事貴婦人界既に定評あり

ヘーヤロール前髮心壹個の目方

壹尺中	貳匁四分
壹尺貳寸大	三匁四分
壹尺五寸極大	五匁五分



私立
大日本婦人衛生會
設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや智識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一年を送らんを皆ともに希はざるはあらじされどし其身健康にあらざれば此生活を得んといと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずとはいへども衣食住の改善育兒及看病法等の知きはいとも緊要の事にして皆吾等婦人のもつぱら掌るべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相繼て起り婦人社會も漸く其の面目を改めんとするは眞に喜ばしきことなりされども夫の衛生の事に至りては更に注意を惹かざるもの、如くまことに口惜しきことなり因りて頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一回集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の講話演説談話などを乞ひ互に相研究し尚之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに益すあらんとす茲に本會旨趣の梗概を叙べて廣く江湖の諸姉妹に告げ其賛成を仰ふぐことしかり

明治二十年十一月

首唱者總代

私立
大日本婦人衛生會規則摘要

（明治卅二年十二月改正）

第一條 目的 本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ以て社會全般の幸福を増進するにあり 第二條 本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く 第三條 本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得 第四條 入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員章を交付す（交付手續從來に詳なり）入會後轉居等あるときは速に事務所に報知せらるべし 第五條 會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金廿五圓以上特別會員は一ヶ月金三拾錢以上、通常會員は一ヶ月金拾五錢を納むる者とす 第六條 男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とす其會費は本會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる者は役員の協議に依り無會費とすることあるべし 第七條 會員は本會に於て毎月發刊する雜誌を無料にて受ることを得 第八條 退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず 第九條 本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るゝこと 第十條 本會に左の役員を置く會長一名、副會長一名、幹事七名、評議員三十名、書記若干名 第十一條 會長副會長幹事評議員は隔年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は幹事の推薦に依り會長之を命ず但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし 第十二條 會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄を掌る幹事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす 第十三條 臨時指名委員の件 第十四條 會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生ずるときは次點者を以て補缺す 第十五條 會長副會長幹事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す 第十六條 集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし 第十七條 每會學識經驗ある人々に衛生上の講話演説談話を囑託し會員をして聽講せしむるものとす 第十八條 會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し諸演説等を傍聽せしむることを得（但衣服は總て質素なるべき事） 第十九條 講話演説等は同時の傍聽を禁ず 第廿條 本會の改正其他重要の件[illegible]收支決算[illegible]所有金は本會の[illegible]收支は總て會計[illegible]一ケ年毎に決算し[illegible]

支會 第廿五條 地方に於て本會々員十名以上の發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得 第廿六條 支會々員にして[illegible]の規定に依る[illegible]を得 第廿八條 [illegible]本會に送付すべし[illegible]第三十條[illegible]登錄[illegible]東京府下に限り[illegible]返信料を添へ[illegible]小爲替又は郵券にて[illegible]差出すべし（郵券送一割增）[illegible]地方會員は總て前金とし[illegible]振替[illegible]東京一〇六〇〇番[illegible]受領證を交付す[illegible]會員中若し本會の障礙となるべき所爲ある者又は甚しく會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

東京市麴町區富士見町二丁目卅二番地 私立大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會役員氏名

婦人衛生雜誌代價及廣告料

代價

一冊　定價金貳拾錢　郵稅壹錢

三冊（三ケ月分）　前金郵稅共　金四拾五錢

十二冊（一ケ年分）　前金郵稅共　金壹圓八拾錢

廣告料

一頁六十二行　一行二十三字

壹頁　金五圓　半頁　金貳圓五拾錢

○特別廣告　壹頁金拾圓　半頁金五圓

○半頁以下行數ヲ以テ計算スルモノハ一行貳拾五錢

規定

○本誌講讀申込ノ節ハ前金三ケ月分以上本會事務所宛ニ送附セラルベシ但シ見本ハ郵券ニテ貳拾壹錢代用苦シカラズ○本誌休讀ノ節ハ速カニ報知セラルベシ通知ナキ分ハ講讀者ト見做ス但シ後金ニハ割引ナシ○轉居ノ節ハ新舊宿所通知セラレタシ

大正二年六月十七日印刷

大正二年六月二十日發行

編輯者兼發行者　東京市本郷區根津西須賀町九番地　莊司秋次郎

印刷者　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　今井甚太郎

印刷所　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　杏林舍

發行所　東京市麴町區富士見町二丁目三十二番地　私立大日本婦人衛生會事務所

賣捌所

東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂

同市銀座四丁目　東海堂

同市京橋區鈴屋町　長明堂

同市本郷區本富士町　明文館

同市同區春木町　南江堂支店

京都市寺町二條南入　若林茂一郎

東京市日本橋區呉服町　北隆館

同市神田區表神保町　東京堂

同市本郷區本富士町　盛春堂

名古屋市榮町六丁目　丸善書店

醫學博士 原榮先生立案講述

通俗 肺病豫防及私宅療養教則

正確有効なる肺結核療養法を行はんと欲せば豫防及養生の根本觀念に通曉するより緊急なるはなし。本書は其根本觀念を社會に普及せんが爲め、在來の養生書と異り最近の肺病療養法をば悉く簡明なる七十餘條の教則に列擧し、一々詳細なる註解を加へ、更に應急處置、食餌法百餘項を附錄とす、實に肺病患者最良の教科書なり。家庭醫、家族、看護人諸君は之れに據り直ちに今日より最も有効なる療養の準備に着手せよ、正確なる療養の着手若し數日を遲るれば肺結核患者治癒の時日は乃ち數月を遲るる可し、此書を讀みて尙肺病の不治を嘆ずる者ありや。

全壹册 菊判洋裝美綴 正價金八拾錢 郵稅六錢

吳博士序
東京醫科大學精神病學教室
東京府巣鴨病院醫員
醫學士 杉江董先生述

通俗 精神病講話

全一册

四六判美綴 精巧寫眞版圖畫 多數插入 正價金五拾錢 郵稅六錢

人一度該病に罹るや、直ちに以て恢復の策無きものとして袖手傍觀措まゝに病魔の跊躪するに任かす、然りと雖、精神病の原因發生は如何なるものなるかを熟知し、之れが豫防治療の道を講ずるに於ては必しも精神病は毎に至難不治の疾病に非ざることを斷言するに憚からず弊堂茲に見る所あり多年東京醫科大學精神病學教室に於て吳博士指導の下に本病を研究せられつゝある杉江學士に乞ひて本書を公にす。解說平易簡明、一は以て家庭の讀物となり、一は以て醫家敎育家の參考書となる、卷中精神病患者の寫眞數十葉を插入す。蓋し本邦に於て此種の書籍は本書を以て嚆矢とす

東京市本郷區龍岡町・振替東京四一八番
發行所 〔電話下谷一六七二番 電話下谷四〇七九番〕 吐鳳堂書店